

国分寺市
教育に関するアンケート調査報告書
(18歳以上)

令和5年12月

国分寺市教育委員会 教育総務課

【目次】

I. 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査手法.....	1
3 回収状況.....	1
4 グラフ及び表中の表記について.....	1
5 集計にあたっての留意事項について.....	2
II. 調査の結果.....	3
1 回答者の属性.....	3
① 性別.....	3
② 年齢.....	3
③ 居住地.....	4
④ 居住年数.....	5
⑤ 職業.....	5
2 第2次国分寺市教育ビジョンについて.....	6
問1 「第2次国分寺市教育ビジョン」の認知.....	6
問2 学びの環境の提供について.....	7
3 生涯学習について.....	8
問3 生涯学習の必要性について.....	8
問4 生涯学習を行っている認識について.....	9
問4-② 生涯学習に関する情報を得る手段について.....	10
問4-③ 生涯学習にで身に付けた知識・技能や経験をどういかしているかについて.....	11
問4-④ 生涯学習を行う条件について.....	12
問5 生涯学習に望まれる情報発信の手段について.....	13
4 公民館について.....	14
問6 公民館の利用の有無について.....	14
問6-② 公民館の利用頻度について.....	15
問6-③ 公民館の利用目的について.....	16
問6-④ 公民館を利用しない理由について.....	17
問7 公民館に期待することについて.....	18
5 図書館について.....	19
問8 図書館の利用の有無について.....	19
問8-② 図書館の利用頻度について.....	20
問9 1か月の読書量について.....	21
問10 電子図書館への登録による、電子書籍の利用について.....	22
問11 図書館サービスに期待することについて.....	23
6 学びたい分野について.....	24
問12 今後学習してみたいと思う分野について.....	24

7	学校や地域との連携やつながりについて	25
問 13	住んでいる地域の人や子どもとのあいさつの程度について.....	25
問 14	地域の子どもとどのように接しているかについて.....	26
問 15	学校・家庭・地域の相互連携・協力で大切なことについて.....	27
問 16	学校と「つながり」を持つことについて	28
問 17	学校教育と地域との連携を強めるために、協力できることについて.....	29
問 18	地域の活動へ参加・協力してもよいと思うことについて.....	30
問 19	中学校の部活動へ、指導者として関わりたいかについて.....	31
8	学校教育について.....	32
問 20	小学生や中学生の子どもの有無について	32
問 21	次代を担う子ども達に身に付けて欲しい力について.....	33
問 22	小・中学校で進めてほしい施策について	34
問 23	いじめや不登校などの問題を防止するために必要なことについて.....	35
問 24	地域に開かれた小学校や中学校にするために大切なことについて.....	36
問 25	小学校や中学校の施設に対して期待する機能について.....	37
問 26	小学校や中学校の教育施設環境について、特に充実・改善してほしいものについて.....	38
問 27	豊かな学びを確保するための校内施設として、重要なものについて.....	39
	【問 20～問 27 の相関関係について】	40
問 28	子どもがパソコンやタブレットなどを用いた学習時に実施していることについて.....	45
問 29	就学援助を知っているかについて	46
問 29-②	就学援助をどこで知ったかについて	47
問 29-③	市の制度を知るために有効な方法について.....	48
問 30	パソコン等を用いた学習によって、子どもたちが身に付けてほしい力について.....	49
問 31	子どもは放課後どのように過ごすのが望ましいについて.....	50
9	国分寺市の文化や文化財について.....	51
問 32	国分寺市内の史跡地への訪問頻度について	51
問 32-②	史跡地を訪れる目的について	52
問 33	国分寺市の文化財について思うこと	53
問 34	国分寺市や住んでいる地域の歴史や起源への興味について.....	54
問 35	地域の歴史を知ることが、地域の課題解決等のヒントになると思うかについて.....	55
問 36	地域の歴史を後世に残すことは、未来の市民にとって必要なことだと思うかについて.....	56
10	国の教育振興基本計画について	57
問 37	「ウェルビーイング」という言葉の認知について.....	57
問 38	教育振興基本計画の認知について	58
問 39	教育政策の目標として重要と思うことについて.....	59

Ⅲ. 調査票.....	60
-------------	----

I. 調査の概要

1 調査の目的

本市の学びの環境についての意見や要望を把握し、今後の教育行政にいかし、併せて新たな教育ビジョン策定のための基礎資料とすることを目的としています。

2 調査手法

- (1) 調査地域：国分寺市全域
- (2) 調査対象：市内在住の18歳以上の男女
- (3) 対象者数：1,600人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- (5) 調査方法：郵送法（郵送配布・郵送回収） ※なお、WEBによる回答も可能としました。
- (6) 調査期間：令和5年9月1日～令和5年9月25日

※ただし、令和5年9月30日までに届いた回収票までを有効としました。

3 回収状況

	票数	回収率
配布数	1,600	-
回収数	455	28.4%
回収数に占める回答割合		
調査票による回答	271	16.9%
WEBによる回答	183	11.4%
*年齢無回答	1	0.0%

*年齢無回答の1票は「紙」による回答。
但し、有効表としてカウントしています。

※小数点第2位を四捨五入。

【アンケート対象者 年齢別回答方法別内訳】

年齢階層	種別	対象数	紙		WEB	
			回答者数	割合	回答者数	割合
18歳以上～30歳未満	市民	300	20	4.4%	29	6.4%
30歳代	市民	300	41	9.0%	47	10.3%
40歳代	市民	300	41	9.0%	49	10.8%
50歳代	市民	300	59	13.0%	29	6.4%
60歳代	市民	200	56	12.3%	21	4.6%
70歳代以上	市民	200	54	11.9%	8	1.8%
年齢無回答	-	-	1	0.0%	0	-

※各回答者割合は、回収数（n=455）に対する割合。

※小数点第2位を四捨五入。

4 グラフ及び表中の表記について

(1) グラフの基数は、特に表記のない限り総数（n=455）です。基数が総数と異なるときには、その都度グラフ上に表記します。

(2) 各設問において、次の略称を使用しています。

SA : シングルアンサー（一つだけ選択回答）

MA : マルチアンサー（すべての選択回答）

5 集計にあたっての留意事項について

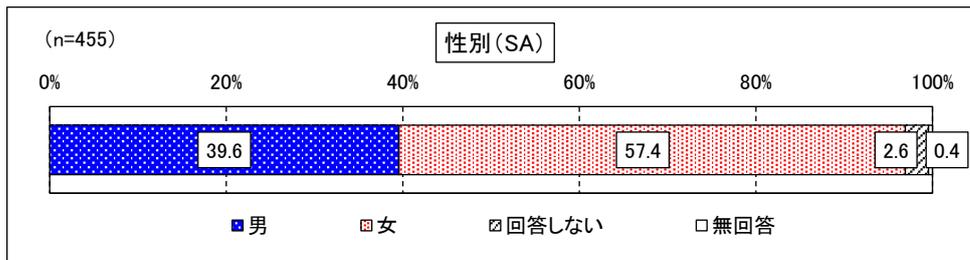
- (1) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として小数点以下第2位を四捨五入して算出しており、四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。
- (2) 複数回答形式の場合、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- (3) 図表中の「n」(net)とは、その設問への回答者数を表します。小数点以下第1位まで示した数値は、回答比率(%)です。
- (4) 選択枝の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いています。

II. 調査の結果

1 回答者の属性

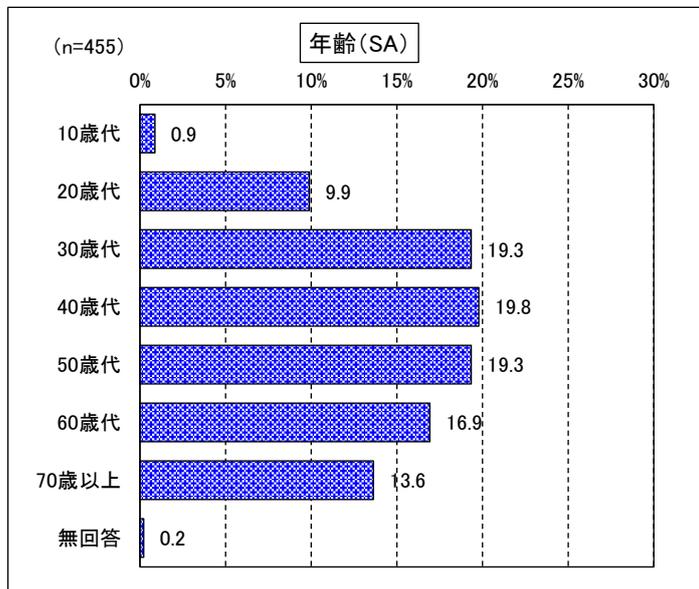
① 性別

回答者の性別は、「男性」が39.6% (180人)、「女性」が57.4% (261人)、「回答しない」が2.6% (12人)となっています。



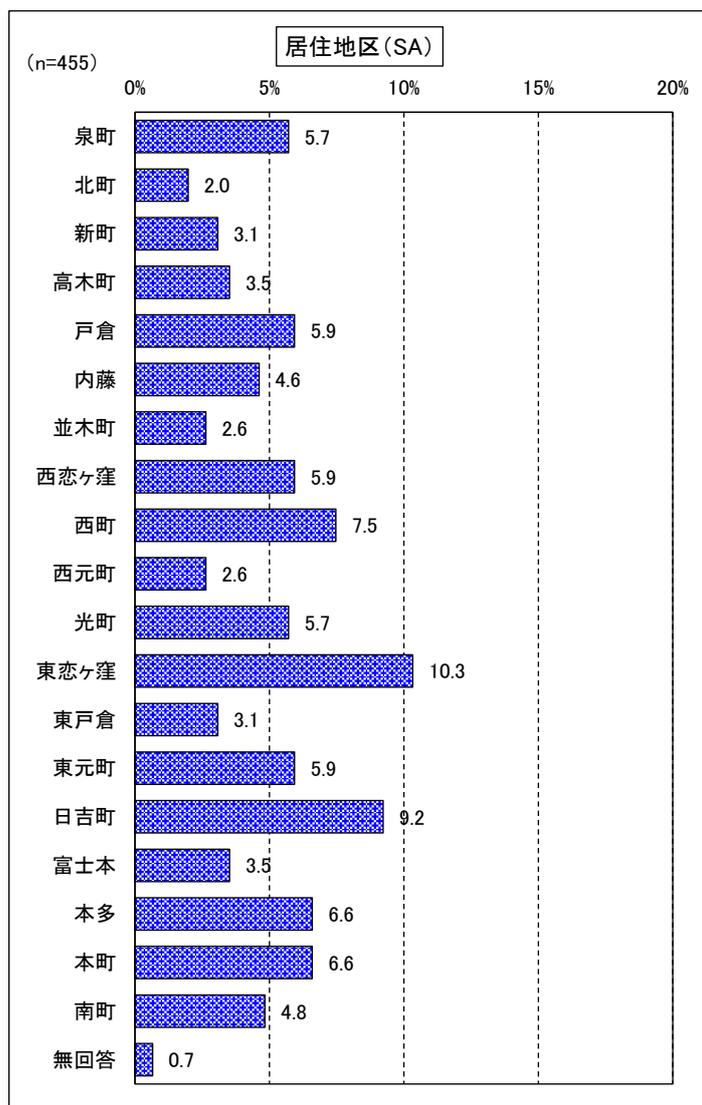
② 年齢

回答者の年齢は、「10歳代」が0.9% (4人)、「20歳代」が9.9% (45人)、「30歳代」が19.3% (88人)、「40歳代」が19.8% (90人)、「50歳代」が19.3% (88人)、「60歳代」が16.9% (77人)、「70歳以上」が13.6% (62人)となっています。



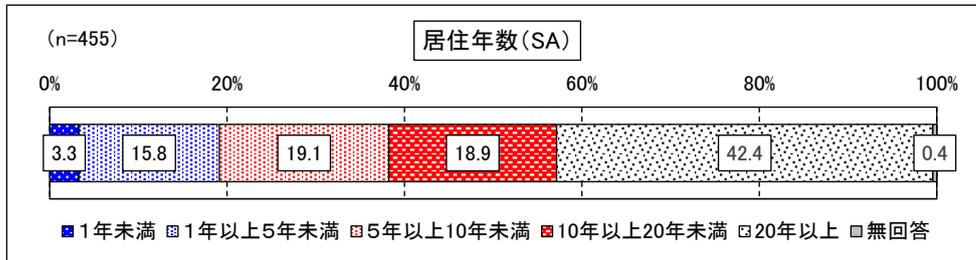
③ 居住地

回答者の居住地域は以下の通りとなっていますが、無回答の地区はありませんでした。



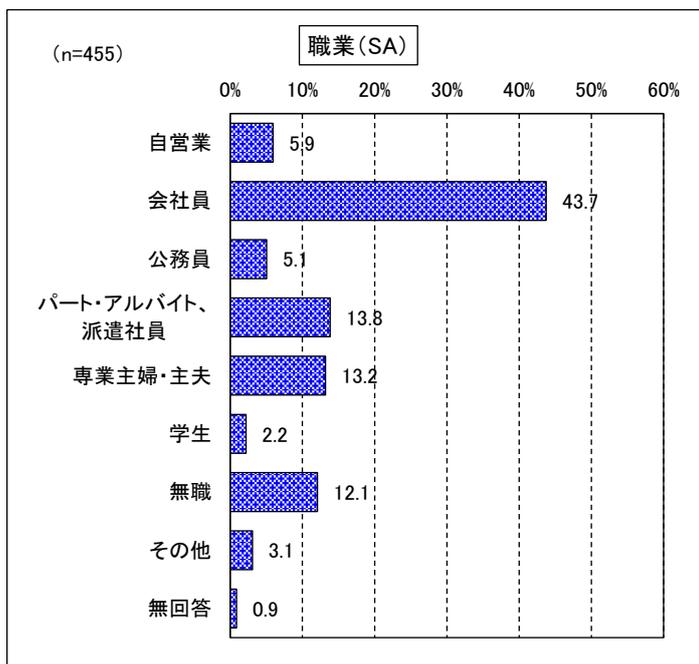
④ 居住年数

回答者の居住年数は、「1年未満」が3.3%（15人）、「1年以上5年未満」が15.8%（72人）、「5年以上10年未満」が19.1%（87人）、「10年以上20年未満」が18.9%（86人）、「20年以上」が42.4%（193人）となっています。



⑤ 職業

回答者の職業は、「自営業」が5.9%（27人）、「会社員」が43.7%（199人）、「公務員」が5.1%（23人）、「パート・アルバイト、派遣社員」が13.8%（63人）、「専業主婦・主夫」が13.2%（60人）、「学生」が2.2%（10人）、「無職」が12.1%（55人）、「その他」が3.1%（14人）となっています。

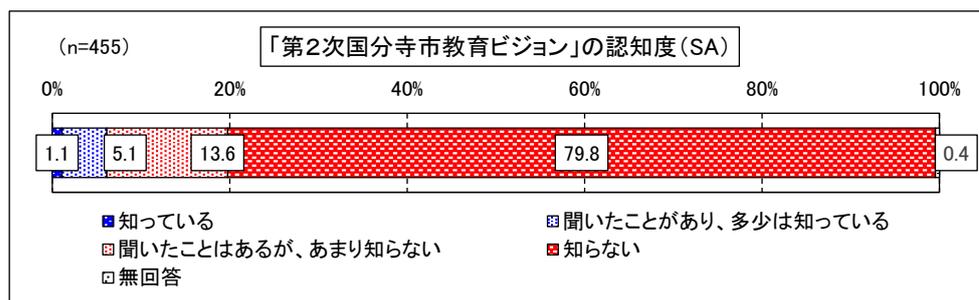


2 第2次国分寺市教育ビジョンについて

問1 国分寺市では、「～人と人がつながり、学びが循環するまち～」を目指す学びの姿とする「第2次国分寺市教育ビジョン」を進めています。あなたはこのビジョンをご存じですか。（○は1つ）

【全体】

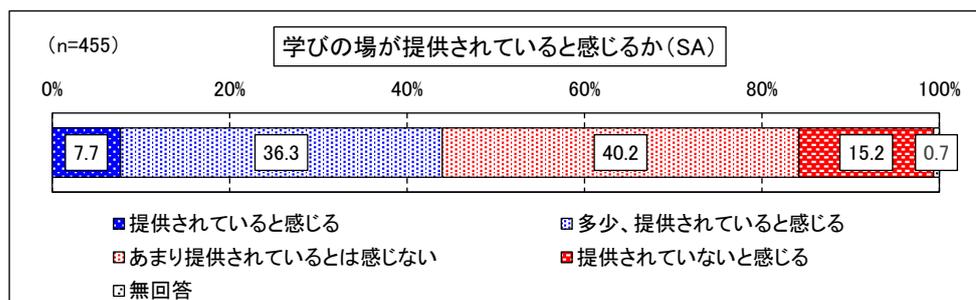
「第2次国分寺市教育ビジョン」について、「知っている」は1.1%、「聞いたことがあり、多少は知っている」は5.1%、「聞いたことはあるが、あまり知らない」は13.6%、「知らない」は79.8%となっています。



問2 「第2次国分寺市教育ビジョン」では、子どもから高齢者まで学びが循環するまちを目指していますが、あなたは国分寺市において常に学びの環境が提供されていると感じますか。（○は1つ）

【全体】

国分寺市において常に学びの環境が提供されていると感じるかについては、「提供されていると感じる」が7.7%、「多少、提供されていると感じる」は36.3%、「あまり提供されているとは感じない」は40.2%、「提供されていないと感じる」は15.2%となっています。



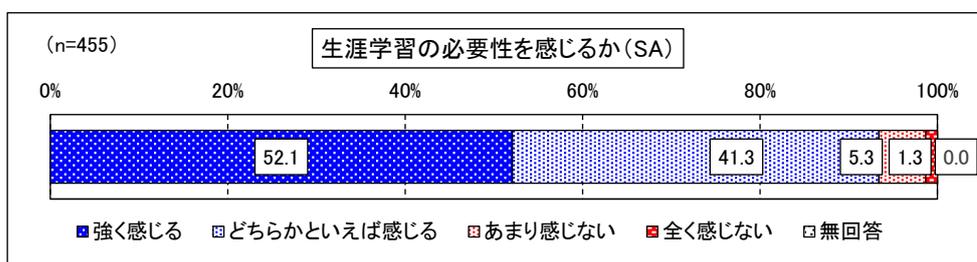
3 生涯学習について

問3 生涯を通じた学びについて伺います。あなたは、生涯学習の必要性を感じますか。（〇は1つ）

【全体】

生涯学習の必要性について、「強く感じる」が52.1%、「どちらかといえば感じる」が41.3%となっており、「強く感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた“感じる”は93.4%となっています。

一方、「あまり感じない」は5.3%、「全く感じない」は1.3%となっており、「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた“感じない”は6.6%となっています。

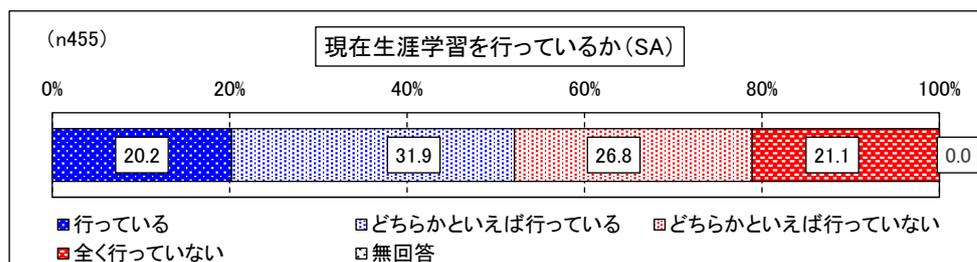


問4 あなたは、ご自身が現在生涯学習を行っていると思いますか。(○は1つ)

【全体】

回答者自身が生涯学習を行っているかについては、「行っている」が20.2%、「どちらかといえ
ば行っている」が31.9%となっており、「行っている」と「どちらかといえは行っている」を合
わせた“行っている”は52.1%となっています。

一方、「どちらかといえは行っていない」は26.8%、「全く行っていない」は21.1%となっ
ており、「どちらかといえは行っていない」と「全く行っていない」を合わせた“行っていない”は
47.9%となっています。

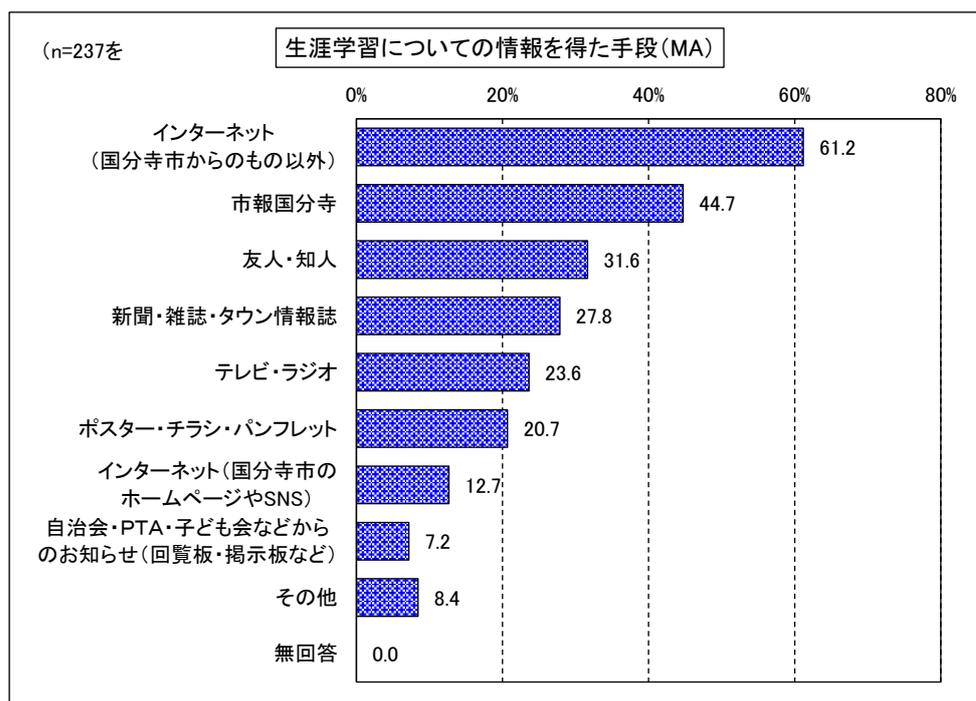


問4-② 問4で「1」または「2」に回答した方に伺います。あなたは、生涯学習についての情報をどのような手段で得ていますか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

生涯学習についての情報を得る手段として、「インターネット（国分寺市からのもの以外）」への回答割合が最も高く61.2%となっています。

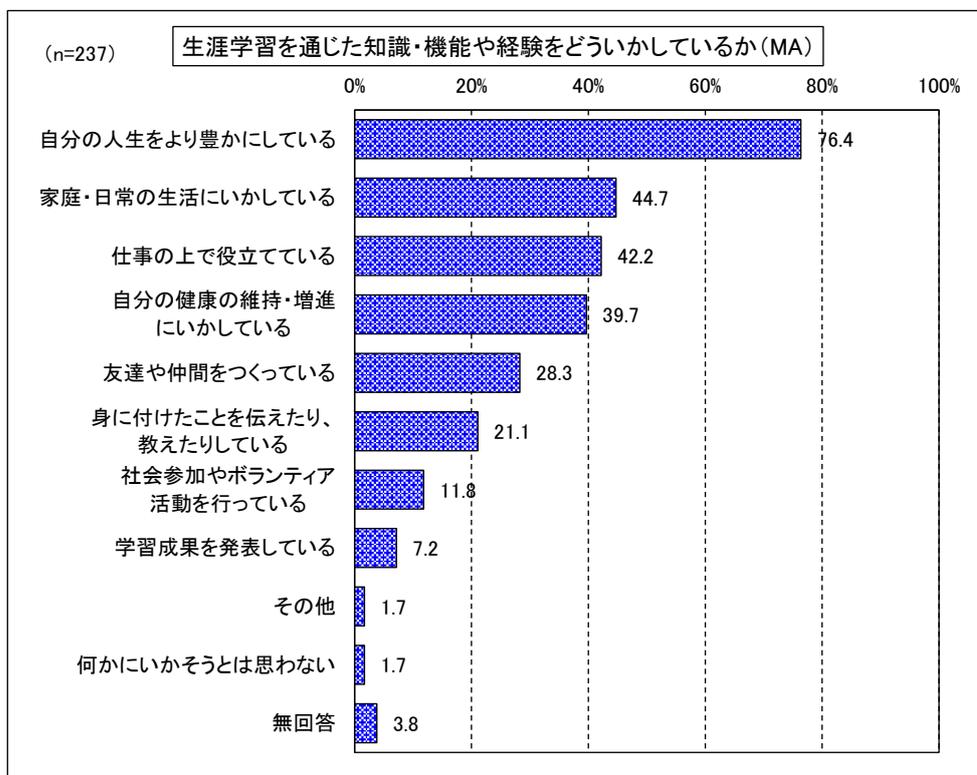
次いで、「市報国分寺」が44.7%、「友人・知人」が31.6%「新聞・雑誌・タウン情報誌」が27.8%「テレビ・ラジオ」が23.6%と続いています。



問4-③ 問4で「1」または「2」に回答した方に伺います。あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能や経験を、どのようにいかしていますか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

生涯学習を通じて身に付けた知識・技能や経験を、どのようにいかしているかについては、「自分の人生をより豊かにしている」への回答割合が最も高く76.4%となっており、次いで、「家庭・日常生活にいかしている」が44.7%、「仕事の上で役立っている」が42.2%、「自分の健康の維持・増進にいかしている」が39.7%と続いています。

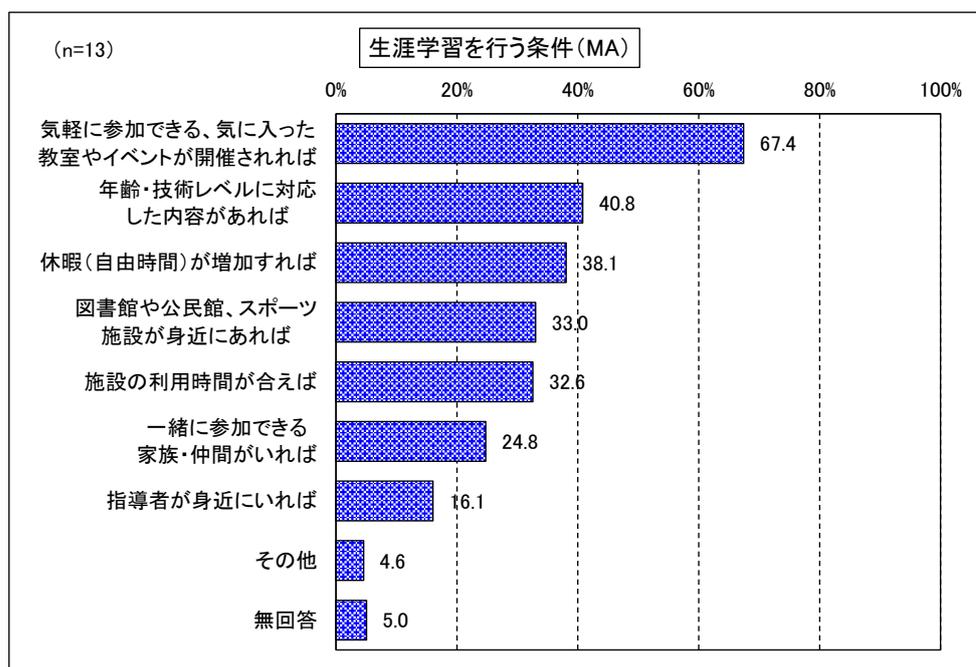


問4-④ 問4で「3」または「4」に回答した方に伺います。あなたは、どのような条件が整えば、生涯学習を行いますか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

生涯学習を行う条件としては、「気軽に参加できる、気に入った教室やイベントが開催されれば」への回答割合が最も高く67.4%となっています。

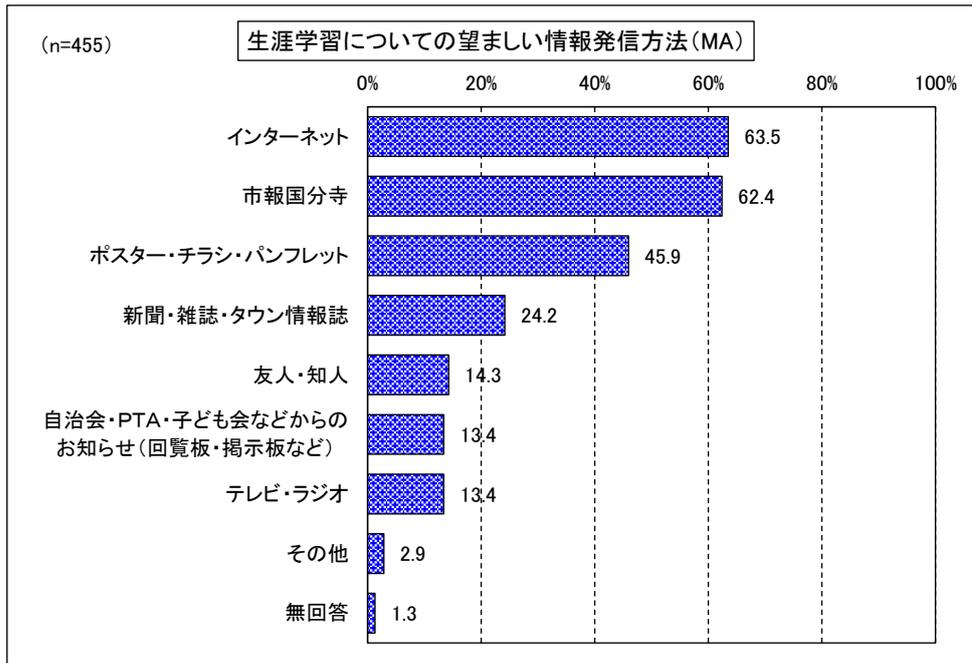
次いで、「年齢・技術レベルに対応した内容があれば」が40.8%、「休暇（自由時間）が増加すれば」が38.1%、「図書館や公民館、スポーツ施設が身近にあれば」33.0%、「施設の利用時間が合えば」が32.6%と続いています。



問5 あなたは、生涯学習についてどのような手段の情報発信を望んでいますか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

生涯学習に望まれる情報発信の手段として、「インターネット」への回答割合が最も高く 63.5% となっており、次いで、「市報国分寺」が 62.4%、「ポスター・チラシ・パンフレット」が 45.9%と続いています。

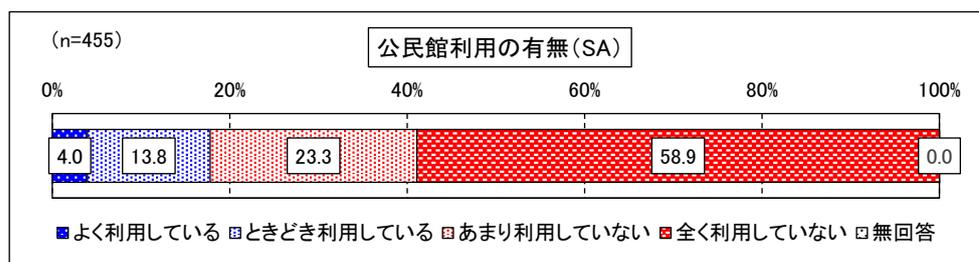


4 公民館について

問6 あなたは、公民館を利用していますか。(○は1つ)

【全体】

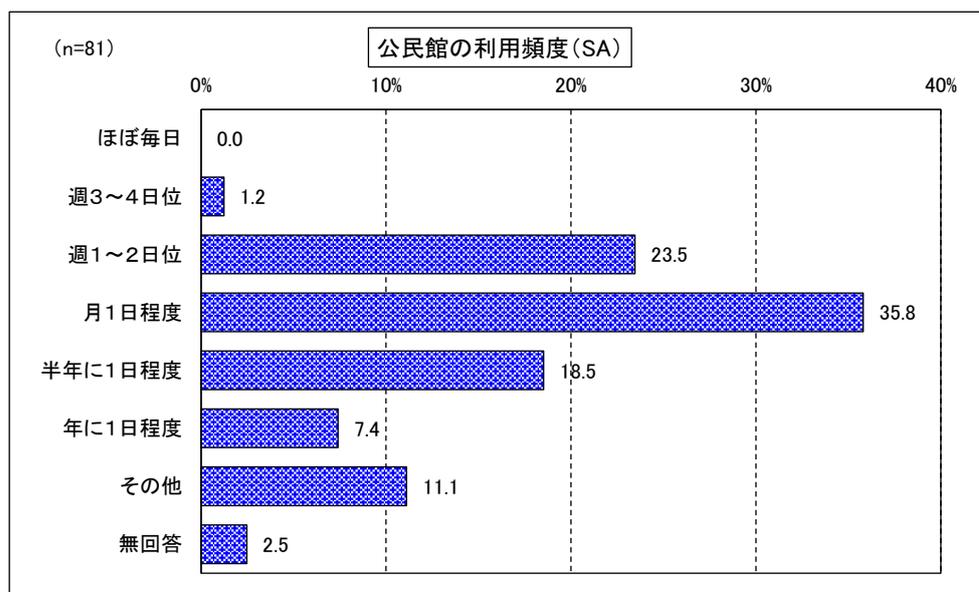
公民館の利用については、「よく利用している」は4.0%、「ときどき利用している」は13.8%、「あまり利用していない」は23.3%、「全く利用していない」は58.9%となっています。



問6-② 問6で「1」または「2」に回答した方に伺います。あなたが、公民館を利用する頻度はどの程度ですか。（○は1つ）

【全体】

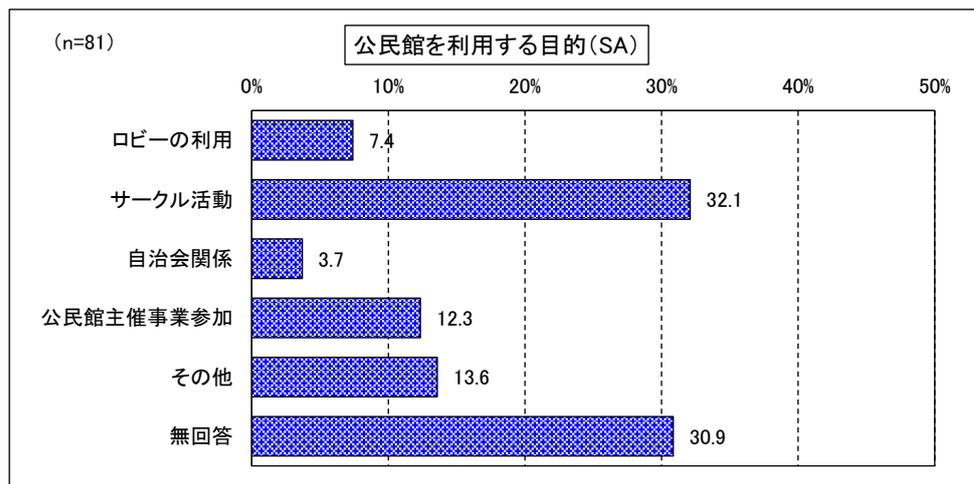
公民館の利用頻度については、「月1回程度」への回答割合が最も高く35.8%となっており、次いで、「週1～2日位」が23.5%、「半年に1日程度」が18.5%と続いています。



問6-③ 問6で「1」または「2」に回答した方に伺います。あなたが、公民館を利用する目的は何ですか。（○は1つ）

【全体】

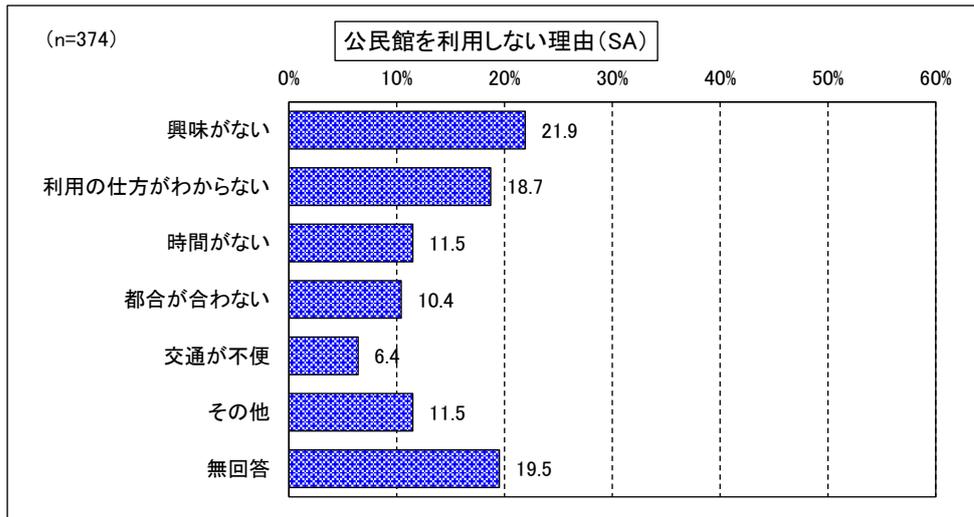
公民館の利用目的については、「サークル活動」への回答割合が最も高く 32.1%となっており、次いで、「その他」が 13.6%、「公民館自主事業参加」が 12.3%と続いています。



問6-④ 問6で「3」または「4」に回答した方に伺います。あなたが、公民館を利用しない理由は何ですか。(〇は1つ)

【全体】

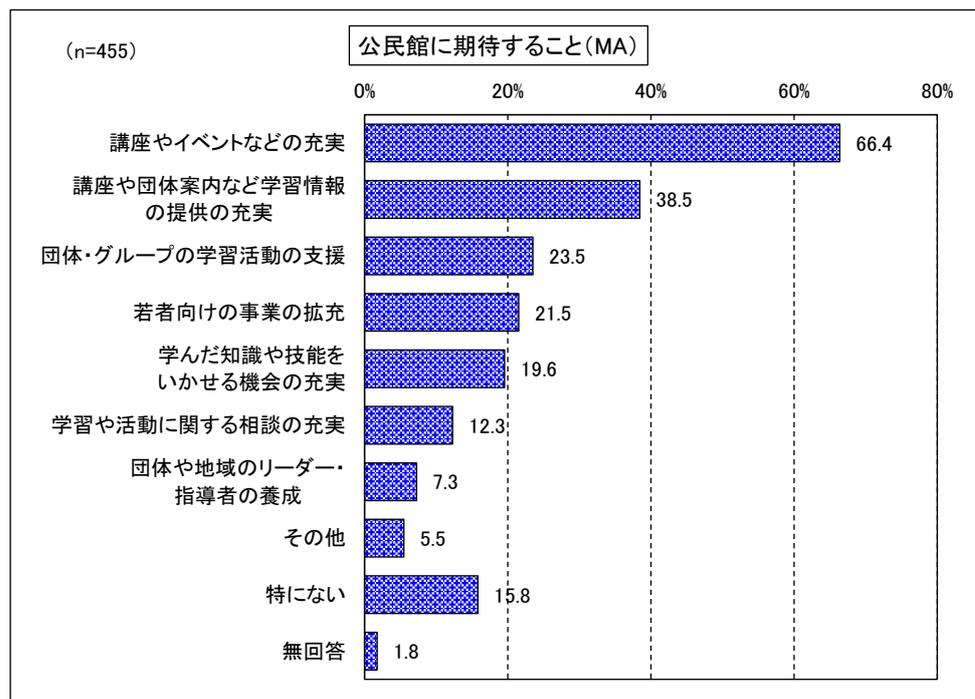
公民館を利用しない理由については、「興味がない」への回答割合が最も高く21.9%となっており、次いで、「利用の仕方がわからない」が18.7%、「時間がない」が11.5%、「都合が合わない」が10.4%となっています。



問7 あなたが、公民館に期待することは何ですか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

公民館に期待することについては、「講座やイベントなどの充実」への回答割合が最も高く66.4%となっており、次いで、「講座や団体案内など学習情報の提供の充実」が38.5%、「団体・グループの学習活動の支援」が23.5%、「若者向けの事業の拡充」が21.5%と続いています。

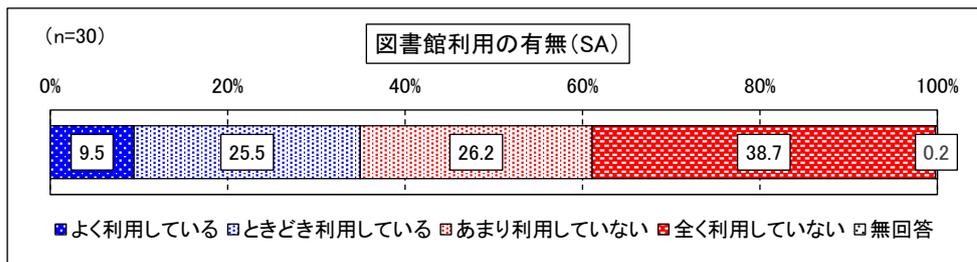


5 図書館について

問8 あなたは、図書館を利用していますか。(〇は1つ)

【全体】

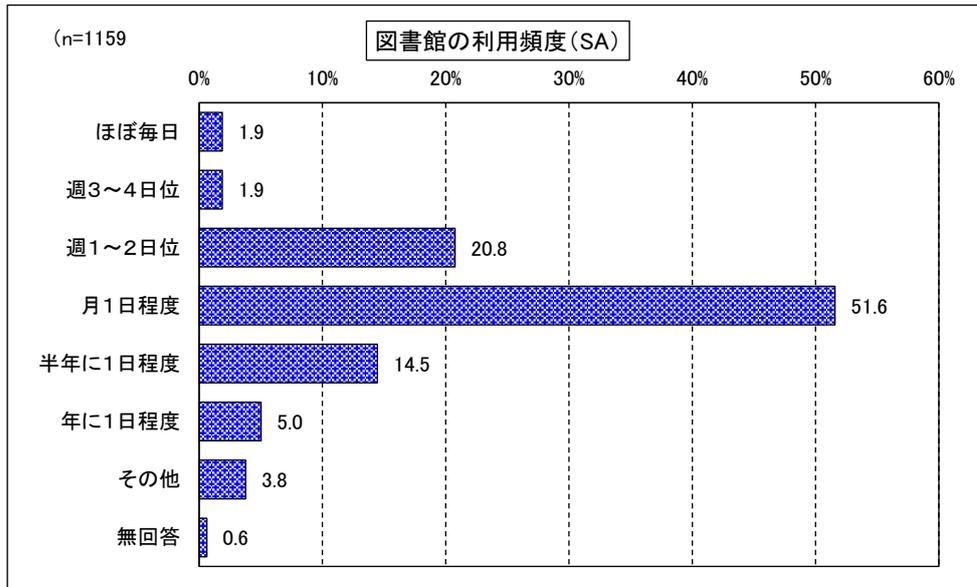
図書館の利用については、「よく利用している」が9.5%、「ときどき利用している」が25.5%、「あまり利用していない」が26.2%、「全く利用していない」が38.7%となっています。



問8-② 問8で「1」または「2」に回答した方に伺います。あなたが、図書館を利用する頻度はどの程度ですか。（○は1つ）

【全体】

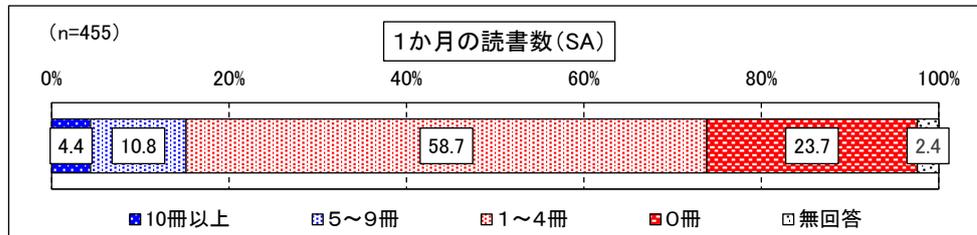
図書館の利用頻度については、「月1日程度」への回答割合が最も高く51.6%となっており、次いで「週1～2日位」が20.8%、「半年に1日程度」が14.5%と続いています。



問9 あなたは、本を1か月で、何冊読みますか。(○は1つ)

【全体】

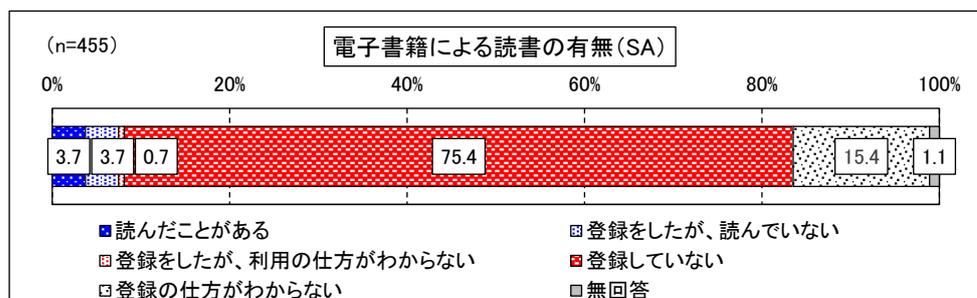
1か月の読書量については、「10冊以上」が4.4%、「5～9冊」が10.8%、「1～4冊」が58.7%、「0冊」が23.7%となっています。



問 10 あなたは、電子図書館の利用登録をして、電子書籍を読んだことがありますか。(○は1つ)

【全体】

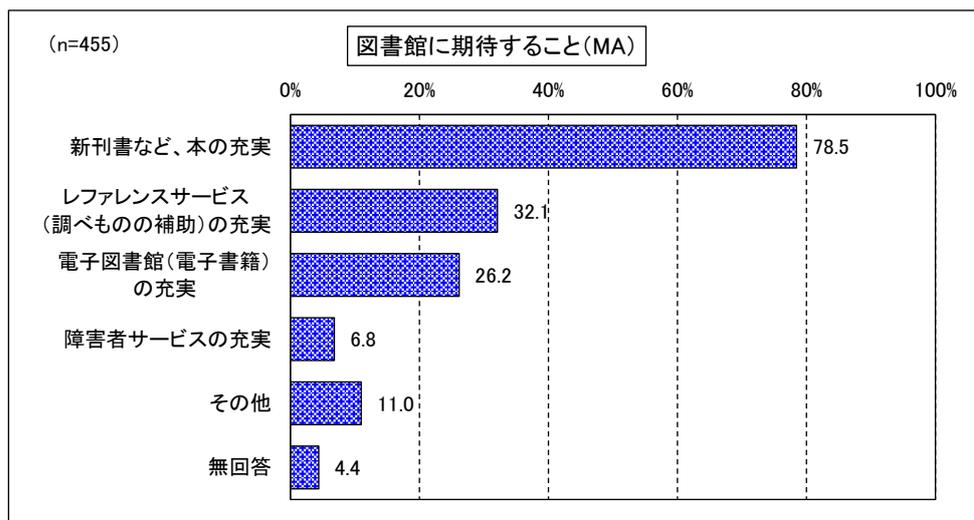
電子図書館への登録による、電子書籍の利用については、「読んだことがある」及び「登録をしたが、読んでいない」が3.7%、「登録をしたが、利用の仕方がわからない」が0.7%、「登録していない」が75.4%となっています。



問 11 あなたが、図書館サービスとして期待することは何ですか。 あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

図書館サービスに期待することについては、「新刊書など、本の充実」への回答割合が最も高く78.5%となっており、次いで、「レファレンスサービス（調べものの補助）の充実」が32.1%、「電子図書館（電子書籍）の充実」が26.2%、となっています。

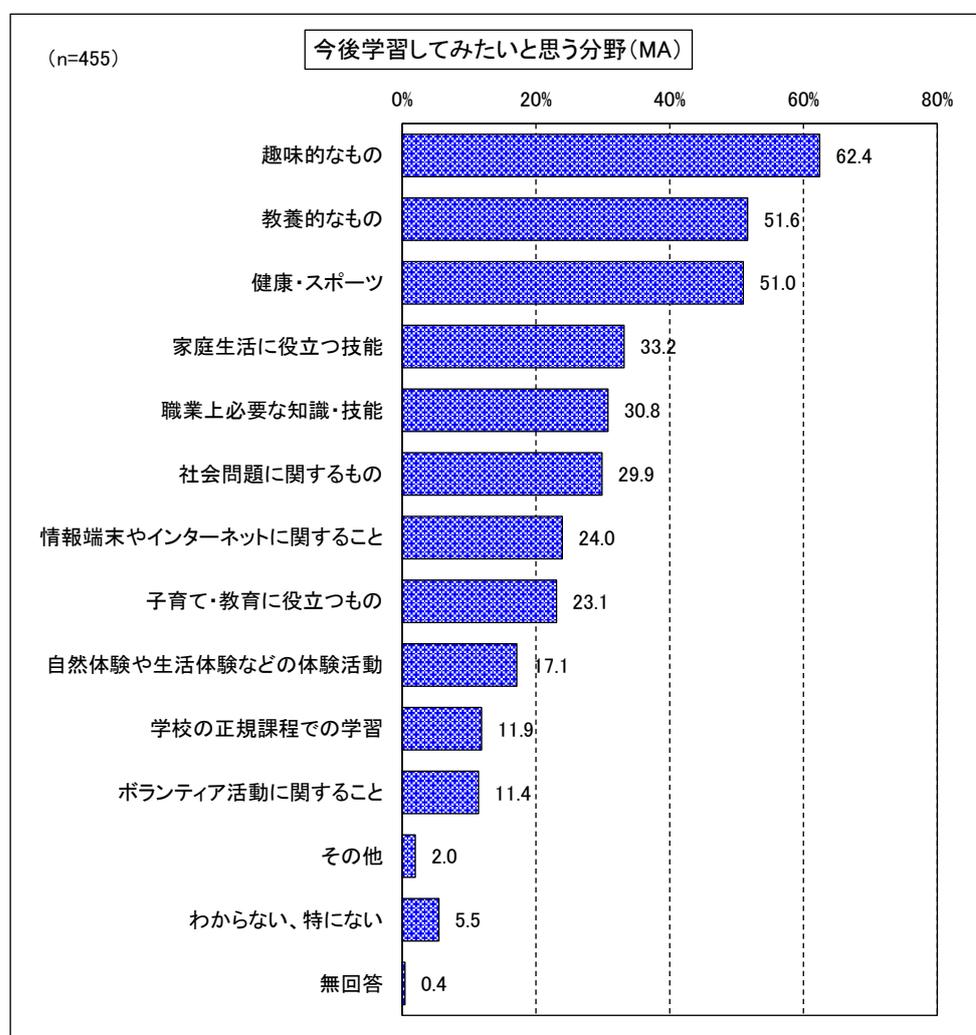


6 学びたい分野について

問 12 あなたが、生涯学習や公民館・図書館で今後学習してみたいと思う分野は何ですか。 あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

今後学習してみたいと思う分野については、「趣味的なもの（音楽・美術・華道・舞踊・書道・レクリエーション活動など）」への回答割合が最も高く62.4%となっており、次いで、「教養的なもの（文学・歴史・科学・語学など）」が51.6%、「健康・スポーツ」が51.0%、「家庭生活に役立つ技能（料理・洋裁・和裁・編み物など）」が33.2%、「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や、資格の取得など）」が30.8%、「社会問題に関するもの（社会・時事・国際・環境・エネルギー・人権など）」が29.9%と続いています。

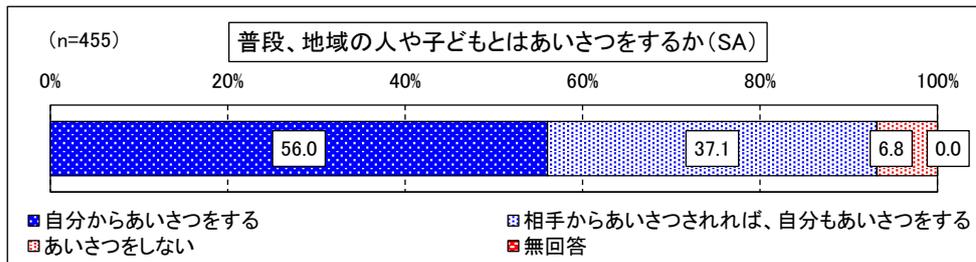


7 学校や地域との連携やつながりについて

問 13 あなたは、普段、あなたが住んでいる地域の人や子どもとはあいさつをしますか。(○は1つ)

【全体】

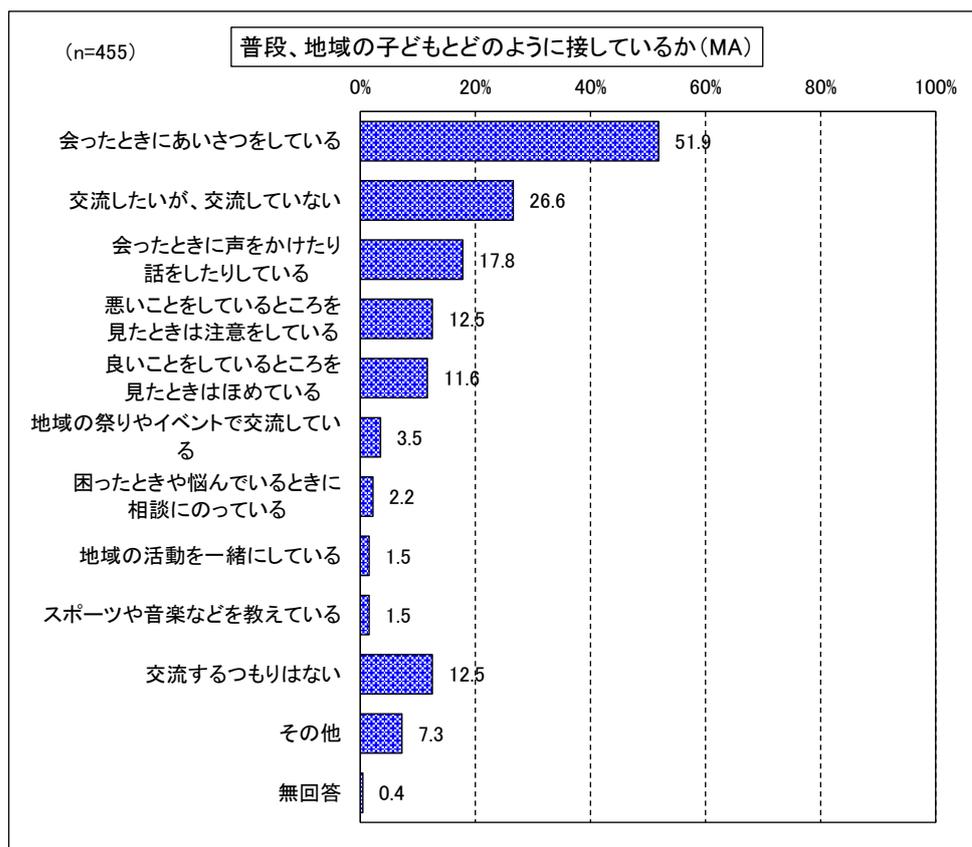
住んでいる地域の人や子どもとのあいさつの程度については、「自分からあいさつをする」が56.0%、「相手からあいさつされれば、自分もあいさつをする」が37.1%、「あいさつをしない」が6.8%となっています。



問 14 あなたは、地域の子どもとどのように接していますか。 あてはまる番号すべてに「○」をつけて
ください。

【全体】

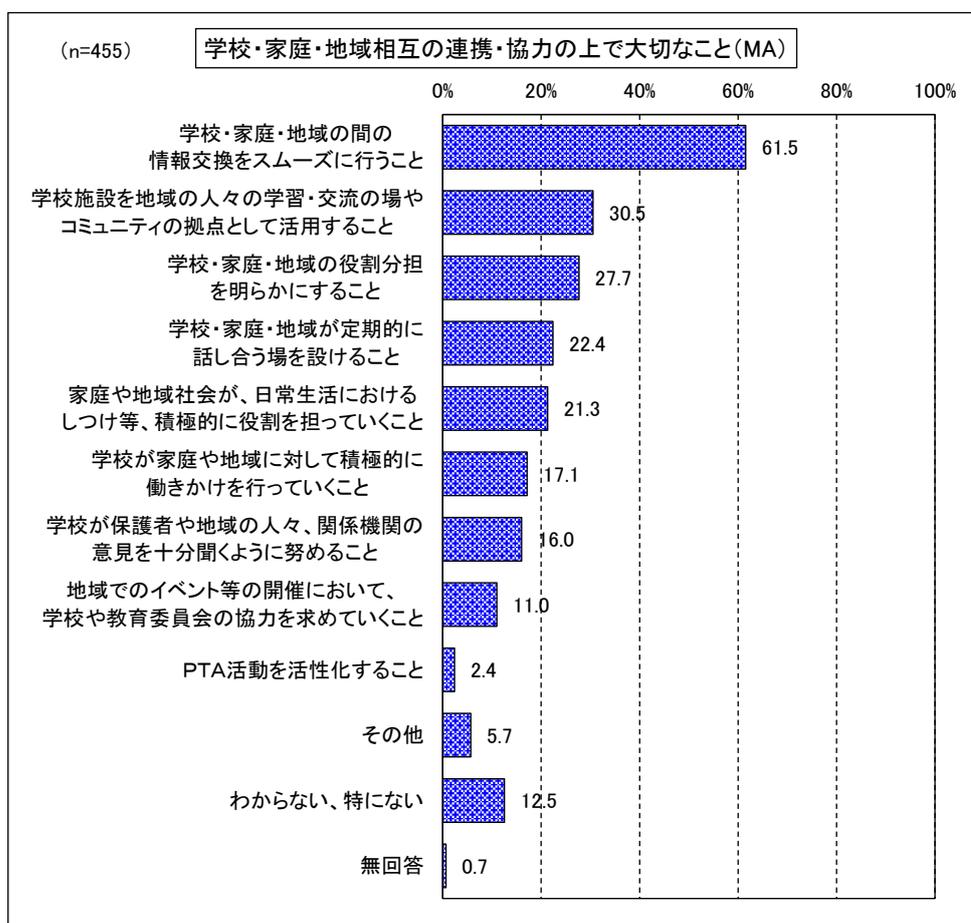
地域の子どもと接する程度については、「会ったときにあいさつをしている」への回答割合が最も高く 51.9%となっており、次いで、「交流したいが、交流していない」が 26.6%、「会ったときに声をかけたり話をしたりしている」が 17.8%と続いています。



問 15 あなたは、学校・家庭・地域が相互の連携・協力を深めていく上で大切なことは何だと思えますか。
あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

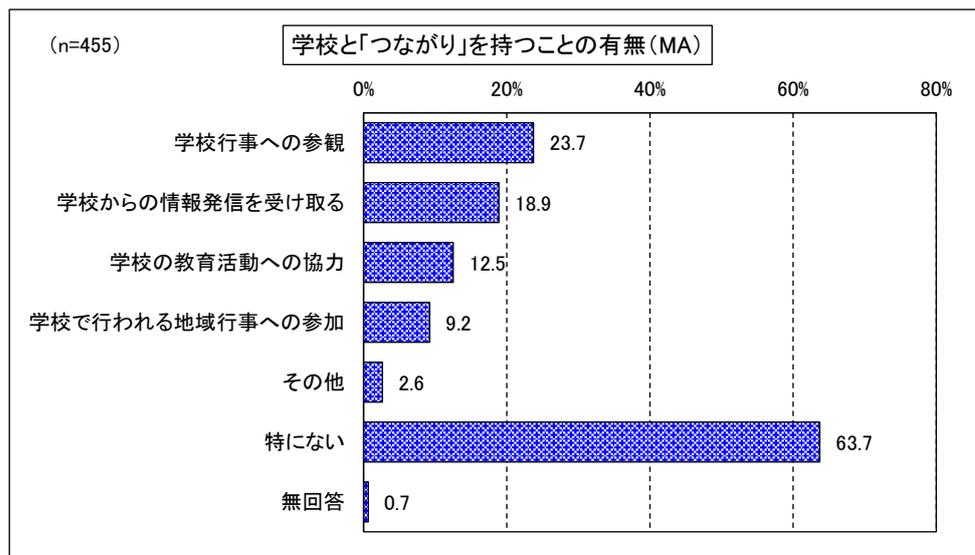
学校・家庭・地域の相互連携・協力で大切なことについては、「学校・家庭・地域間の情報交換をスムーズに行うこと」への回答割合が最も高く 61.5%となっており、次いで、「学校施設を地域の人々の学習・交流の場やコミュニティの拠点として活用すること」が 30.5%、「学校・家庭・地域の役割分担を明らかにすること」が 27.7%、「学校・家庭・地域が定期的に話し合う場を設けること」が 22.4%と続いています。



問 16 あなたは、学校と「つながり」を持つことがありますか。 あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

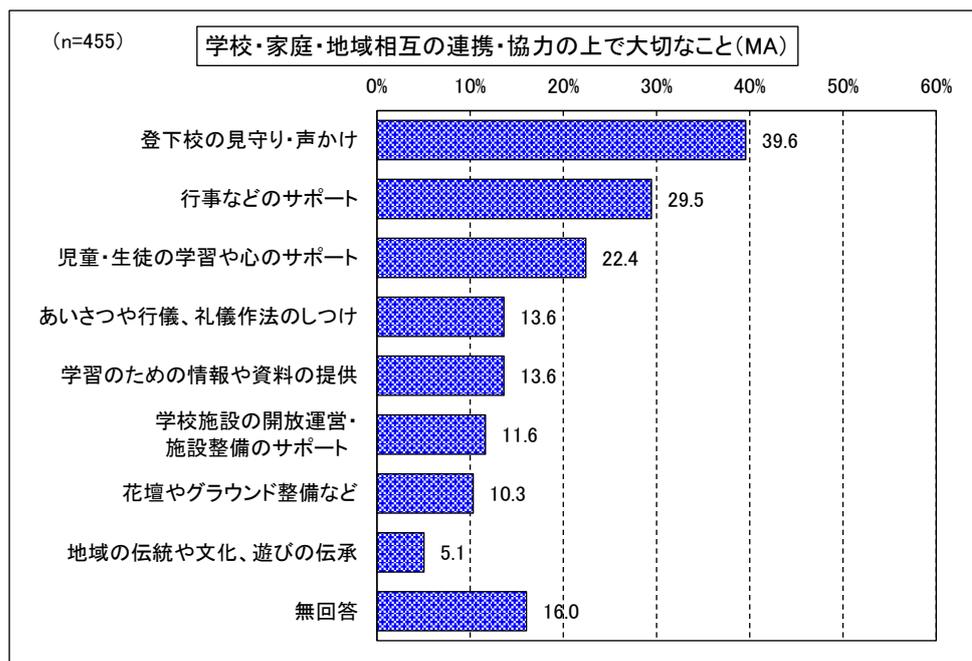
学校と「つながり」を持つことがあるかについては、「学校行事への参観」への回答割合が最も高く 23.7%となっており、次いで、「学校からの情報発信を受け取る」が 18.9%、「学校の教育活動への協力」が 12.5%と続いています。



問 17 学校教育と地域との連携を強めるために、あなたが協力できることは何ですか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

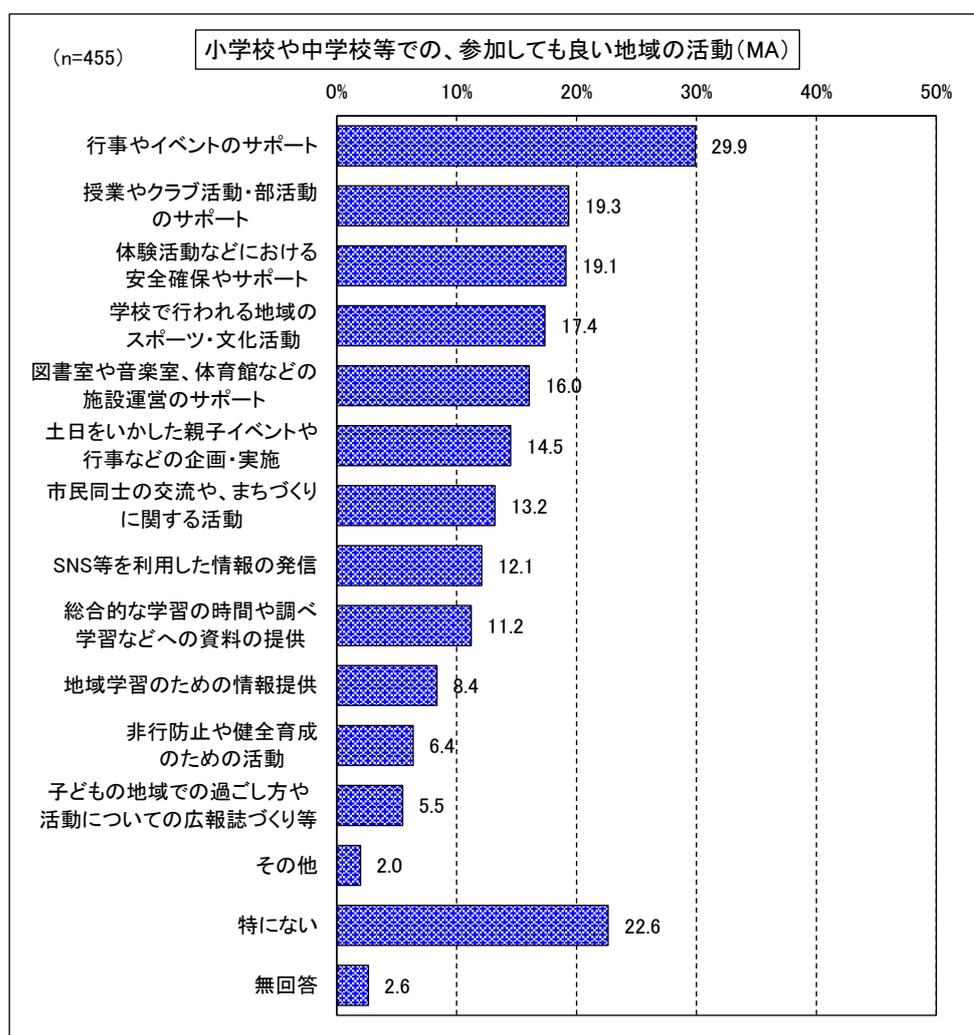
学校教育と地域との連携を強めるために、協力できることについては、「登下校の見守り・声かけ」への回答割合が最も高く 39.6%となっており、次いで、「行事などのサポート」が 29.5%、「児童・生徒の学習や心のサポート」が 22.4%と続いています。



問 18 あなたは、身近な小学校・中学校の取組やそこを拠点として行われる地域の活動について、どのようなことなら参加・協力してもよいと思いますか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

身近な小学校・中学校の取組やそこを拠点として行われる地域の活動について、参加・協力してもよいと思うことについては、「行事やイベントのサポート」への回答割合が最も高く 29.9%となっており、次いで、「授業やクラブ活動・部活動のサポート」が 19.3%、「体験活動などにおける安全確保やサポート」が 19.1%、「学校で行われる地域のスポーツ・文化活動」が 17.4%と続いています。

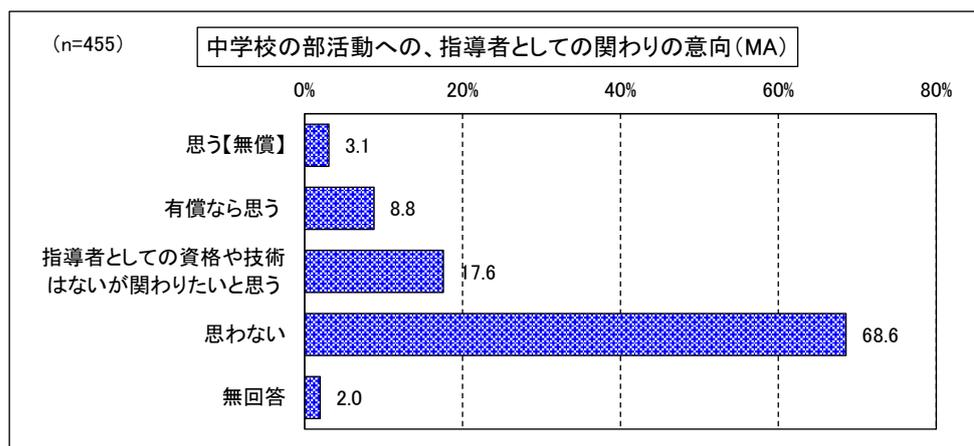


問 19 今後、中学校の部活動について、教員以外の指導者へお願いする地域移行を進めていく予定です。

あなたは、その指導者として学校と関わりたいと思いますか。(○は1つ) また、関わりたいと思う場合、ご専門の種目は何ですか。(例：バドミントン、吹奏楽など)

【全体】

中学校の部活動について、指導者として学校と関わりたいと思うかについては、「思う【無償】」が3.1%、「有償なら思う」が8.8%、「指導者としての資格や技術はないが関わりたいと思う」が17.6%、「思わない」が68.6%となっています。

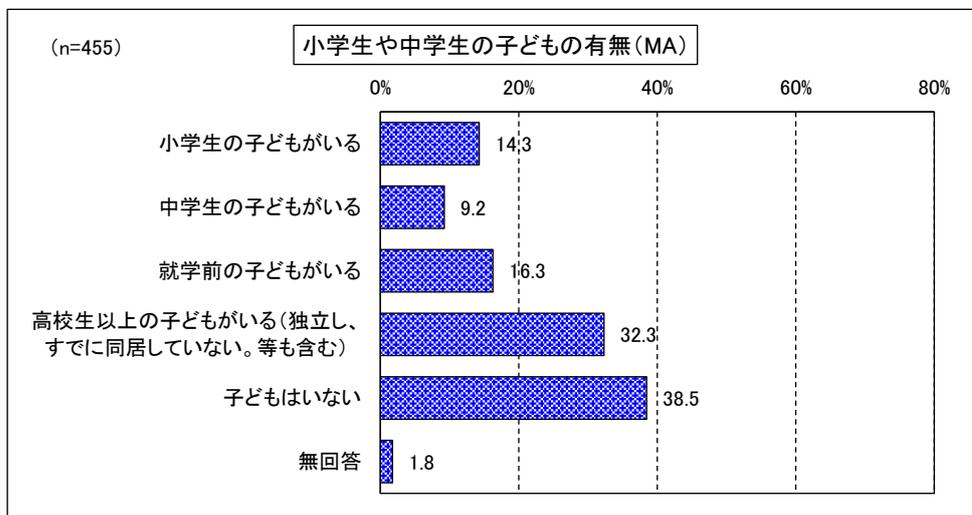


8 学校教育について

問 20 あなたには、小学生や中学生のお子さんがありますか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。（※なお、1～4に丸を付けている場合、5にも丸を付けますと無回答扱いとなりますので、ご注意ください。）

【全体】

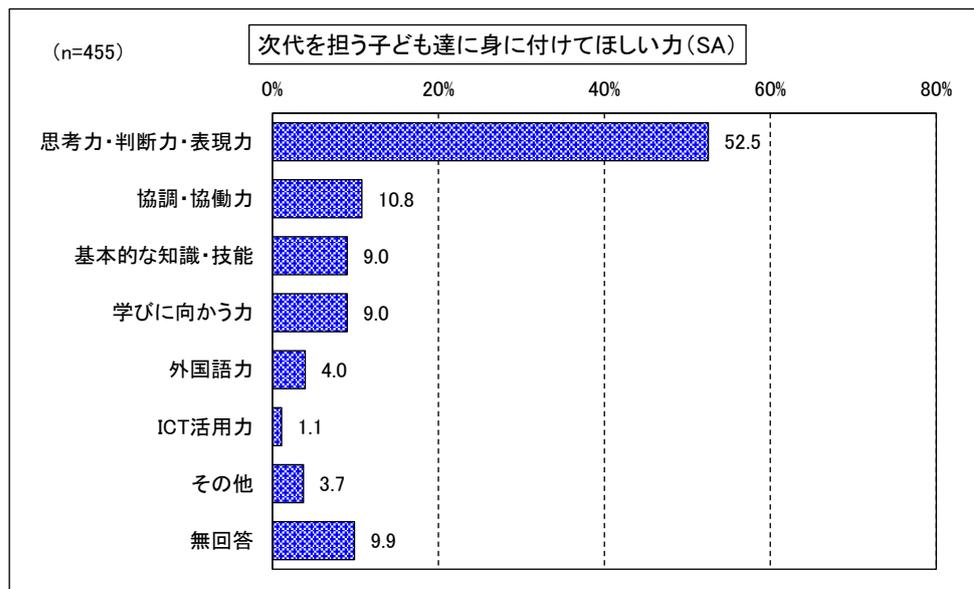
小学生や中学生の子どもの有無については、「小学生の子どもがいる」が14.3%、「中学生の子どもがいる」が9.2%、「就学前の子どもがいる」16.3%、「高校生以上の子どもがいる（独立し、すでに同居していない。等も含む）」が32.3%、「子どもはいない」が38.5%となっています。



問 21 あなたは、次代を担う子ども達に身に付けて欲しい力は何だと思いますか。（○は1つ）

【全体】

次代を担う子ども達に身に付けて欲しい力については、「思考力・判断力・表現力」への回答割合が最も高く 52.5%となっており、次いで、「協調・協働力」が 10.8%、「基本的な知識・技能」及び「学びに向かう力」が 9.0%、「外国語力」が 4.0%、「ICT 活用力」が 1.1%と続いています。



問 22 小・中学校の学校教育を改善・充実するため、次のような施策や学校などでの取組が想定されます。あなたは、どの施策を進めてほしいと考えていますか。 (〇は3つまで)

【全体】

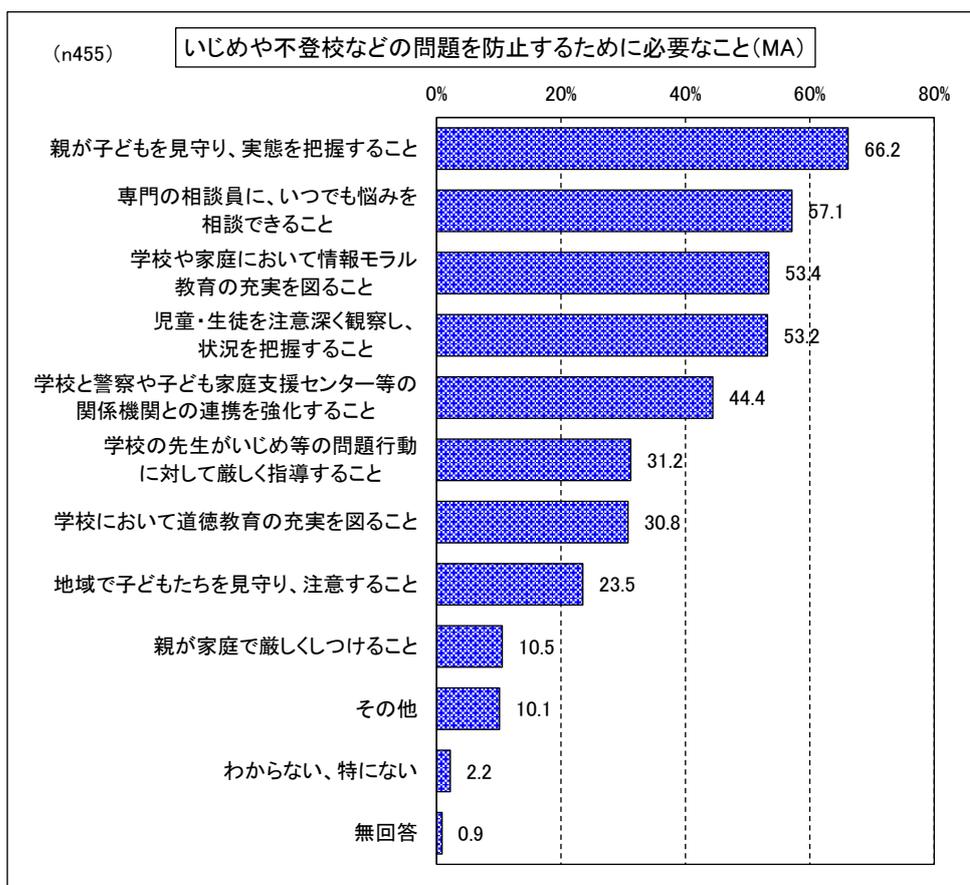
小・中学校の学校教育を改善・充実するために、どの施策を進めてほしいかについては、「教職員の多忙化への対応（働き方改革）」への回答割合が最も高く 47.5%となっており、次いで、「習熟度別指導」が 28.4%、「部活動での外部指導者の活用」が 22.9%、「少人数指導」が 21.8%、「不登校児童・生徒への支援」が 21.5%、「給食の充実」が 17.6%と続いています。



問 23 あなたは、いじめや不登校などの問題を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

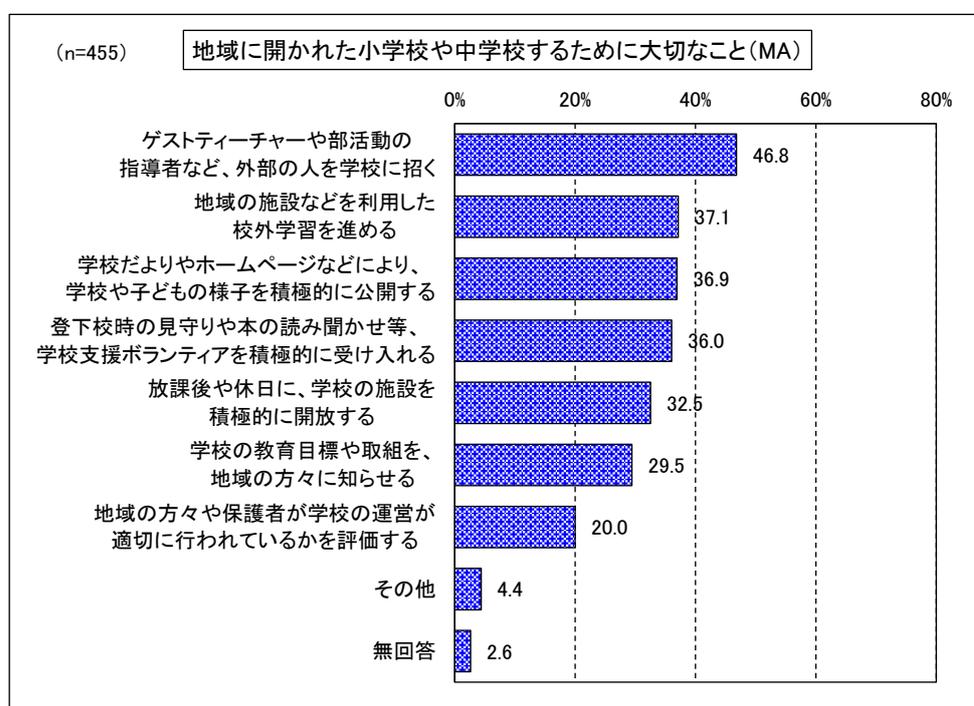
いじめや不登校などの問題を防止するために、必要なことについては、「親が子どもを見守り、実態を把握すること」への回答割合が最も高く 66.2%となっており、次いで、「専門の相談員に、いつでも悩みを相談できること」が 57.1%、「学校や家庭において情報モラル教育の充実を図ること」が 53.4%、「児童・生徒を注意深く観察し、状況を把握すること」が 53.2%、「学校と警察や子ども家庭支援センター等の関係機関との連携を強化すること」が 44.4%と続いています。



問 24 あなたは、地域に開かれた小学校や中学校にするために何が大切だと思いますか。 あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

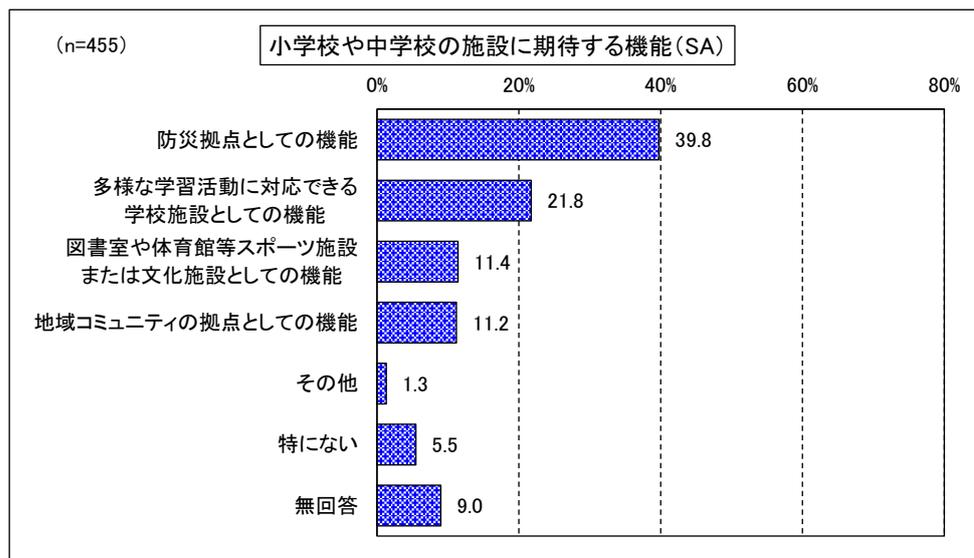
地域に開かれた小学校や中学校にするために大切なことについては、「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」への回答割合が最も高く 46.8%となっており、次いで、「地域の施設などを利用した校外学習を進める」が 37.1%、「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」が 36.9%、「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」が 36.0%と続いています。



問 25 あなたが、小学校や中学校の施設に対して期待する機能は、どのようなものですか。（○は1つ）

【全体】

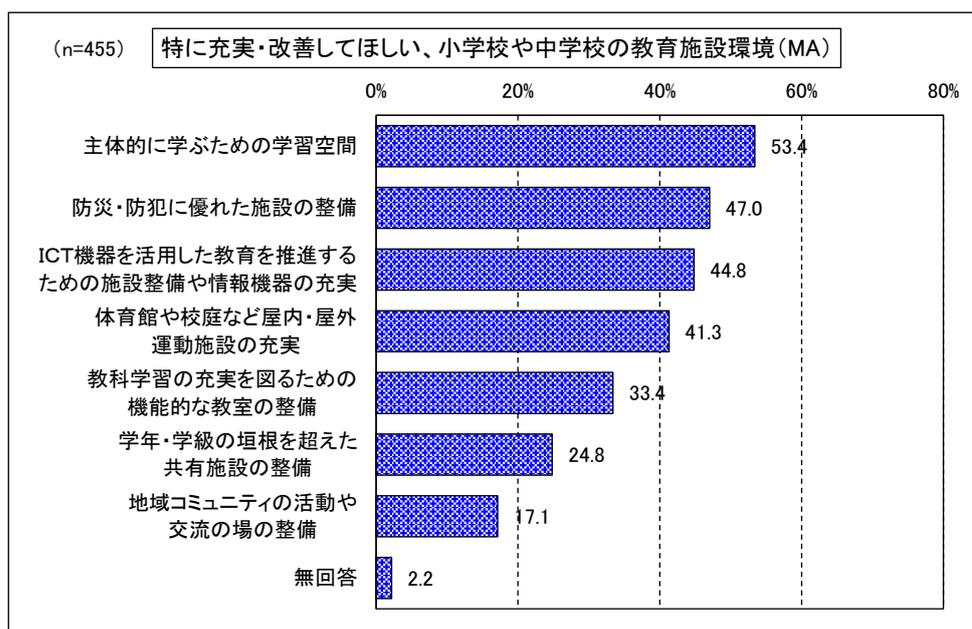
小学校や中学校の施設に対して期待する機能については、「防災拠点としての機能」への回答割合が最も高く 39.8%となっており、次いで、「多様な学習活動に対応できる学校施設としての機能」が 21.8%、「図書室や体育館等スポーツ施設または文化施設としての機能」が 11.4%、「地域コミュニティの拠点としての機能」が 11.2%と続いています。



問 26 あなたが、小学校や中学校の教育施設環境について、特に充実・改善してほしいものは何ですか。
あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

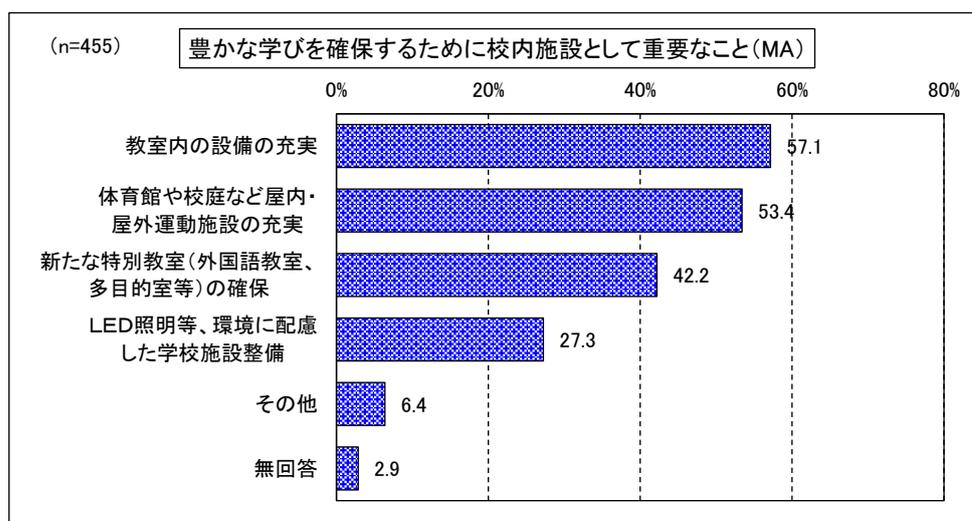
小学校や中学校の教育施設環境について、特に充実・改善してほしいものについては、「主体的に学ぶための学習空間」への回答割合が最も高く 53.4%となっており、次いで、「防災・防犯に優れた施設の整備」が 47.0%、ICT機器を活用した教育を推進するための施設整備や情報機器の充実」が 44.8%、「体育館や校庭など屋内・屋外運動施設の充実」が 41.3%と続いています。



問 27 あなたは、豊かな学びを確保するための校内施設として、どのようなものが重要だと思いますか。
あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

豊かな学びを確保するための校内施設として、重要なものについては、「教室内の設備の充実」への回答割合が最も高く 57.1%となっており、次いで、「体育館や校庭など屋内・屋外運動施設の充実」が 53.4%、「新たな特別教室（外国語教室、多目的室等）の確保」が 42.2%と続いています。



【問20～問27の相関関係について】

「問20 小学生や中学生の子どもの有無について」と、「問21 次代を担う子ども達に身に付けて欲しい力について」「問22 小・中学校で進めてほしい施策について」「問23 いじめや不登校などの問題を防止するために必要なことについて」「問24 地域に開かれた小学校や中学校にするために大切なことについて」「問25 小学校や中学校の施設に対して期待する機能について」「問26 小学校や中学校の教育施設環境について、特に充実・改善してほしいものについて」「問27 豊かな学びを確保するための校内施設として、重要なものについて」の相関をみると、以下のとおりとなっています。

■「問20 小学生や中学生の子どもの有無について」×「問21 次代を担う子ども達に身に付けて欲しい力について」

	合計	問21 次代を担う子ども達に身に付けて欲しい力							
		基本的な知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	外国語力	協調・協働力	ICT活用能力	その他	無回答
全体	455	9.0	52.5	9.0	4.0	10.8	1.1	3.7	9.9
小学生の子どもがいる	65	13.8	46.2	10.8	4.6	9.2	0.0	1.5	13.8
中学生の子どもがいる	42	7.1	61.9	9.5	2.4	11.9	0.0	2.4	4.8
就学前の子どもがいる	74	9.5	52.7	9.5	2.7	10.8	1.4	6.8	6.8
高校生以上の子どもがいる	147	8.2	54.4	7.5	4.1	10.9	2.7	3.4	8.8
子どもはいない	175	7.4	53.7	10.3	4.0	12.6	0.0	3.4	8.6

■ 「問20 小学生や中学生の子どもの有無について」 × 「問22 小・中学校で進めてほしい施策について」

	合計	問22 小・中学校の学校教育を改善・充実させるため進めたい施策（〇は3つまで）							
		習熟度別指導	少人数指導	市民性（よりよい社会づくりに参画しようとする資質・能力）を高める教育カリキュラム	小学校での教科担任制	小中一貫教育	学校と地域の協働体制の強化	開かれた学校づくり	教職員の多忙化への対応（働き方改革）
全体	455	28.4	21.8	15.4	11.0	6.4	6.8	9.5	47.5
小学生の子どもがいる	65	49.2	29.2	12.3	21.5	9.2	6.2	9.2	40.0
中学生の子どもがいる	42	47.6	33.3	19.0	2.4	7.1	7.1	2.4	40.5
就学前の子どもがいる	74	35.1	18.9	16.2	17.6	4.1	1.4	9.5	48.6
高校生以上の子どもがいる	147	23.1	23.8	17.0	4.8	11.6	6.8	7.5	41.5
子どもはいない	175	24.6	17.7	14.9	10.9	3.4	8.6	10.9	54.9

	合計	問22 小・中学校の学校教育を改善・充実させるため進めたい施策（〇は3つまで）					
		教員が教える授業持ち時間数の軽減	部活動での外部指導者の活用	地域スポーツクラブの活用	学校の専門的機能の向上（例：ソーシャルワーカー、スクールカウンセラー）	不登校児童・生徒への支援	インクルーシブ教育（障害のある子どもにも共に学ぶしくみ）
全体	455	10.1	22.9	9.7	16.9	21.5	13.6
小学生の子どもがいる	65	10.8	16.9	9.2	13.8	23.1	6.2
中学生の子どもがいる	42	9.5	23.8	7.1	9.5	16.7	11.9
就学前の子どもがいる	74	12.2	20.3	14.9	16.2	20.3	10.8
高校生以上の子どもがいる	147	8.2	25.2	9.5	13.6	17.7	15.0
子どもはいない	175	10.9	23.4	8.0	20.6	26.3	15.4

	合計	問22 小・中学校の学校教育を改善・充実させるため進めたい施策（〇は3つまで）					
		学校施設の計画的な整備	学校とその他の施設公共の合築	給食の充実	その他	特になし	無回答
全体	455	12.7	2.9	17.6	7.5	2.6	1.5
小学生の子どもがいる	65	27.7	4.6	16.9	21.5	1.5	0.0
中学生の子どもがいる	42	14.3	4.8	11.9	16.7	2.4	0.0
就学前の子どもがいる	74	18.9	0.0	31.1	13.5	0.0	0.0
高校生以上の子どもがいる	147	12.2	4.8	17.0	6.8	3.4	0.7
子どもはいない	175	7.4	1.7	14.3	3.4	3.4	1.7

■「問20 小学生や中学生の子どもの有無について」×「問23 いじめや不登校などの問題を防止するために必要なことについて」

	合計	問23 いじめや不登校などの問題を防止するために必要なこと					
		親が子どもを見守り、実態を把握すること	親が家庭で厳しくしつけること	インターネット上のトラブルを防止するため、学校や家庭において情報モラル教育の充実を図ること	学校の先生が児童・生徒を注意深く観察し、状況を把握すること	学校の先生がいじめ等の問題行動に対して厳しく指導すること	学校において道徳教育の充実を図ること
全体	455	66.2	10.5	53.4	53.2	31.2	30.8
小学生の子どもがいる	65	80.0	18.5	56.9	70.8	47.7	33.8
中学生の子どもがいる	42	69.0	9.5	40.5	52.4	31.0	33.3
就学前の子どもがいる	74	71.6	12.2	70.3	59.5	39.2	36.5
高校生以上の子どもがいる	147	65.3	9.5	51.0	53.7	32.0	31.3
子どもはいない	175	60.6	10.3	52.0	46.9	25.1	27.4

	合計	問23 いじめや不登校などの問題を防止するために必要なこと					
		専門の相談員（スクールカウンセラー）に、いつでも悩みを相談できること	学校と警察や子ども家庭支援センター等の関係機関との連携を強化すること	地域で子どもたちを見守り、注意すること	その他	わからない、特にない	無回答
全体	455	57.1	44.4	23.5	10.1	2.2	0.9
小学生の子どもがいる	65	52.3	44.6	29.2	15.4	1.5	0.0
中学生の子どもがいる	42	59.5	33.3	28.6	11.9	2.4	0.0
就学前の子どもがいる	74	56.8	54.1	21.6	10.8	1.4	0.0
高校生以上の子どもがいる	147	61.2	36.7	26.5	9.5	2.7	0.0
子どもはいない	175	57.7	46.9	20.6	9.1	2.3	1.1

■「問20 小学生や中学生の子どもの有無について」×「問24 地域に開かれた小学校や中学校にするために大切なことについて」

	合計	問24 地域に開かれた小学校や中学校にするために何が大切か								
		学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する	学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる	ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く	登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる	地域の施設などを利用した校外学習を進める	地域の方々や保護者が学校の運営が適切に行われているかを評価する	放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する	その他	無回答
全体	455	36.9	29.5	46.8	36.0	37.1	20.0	32.5	4.4	2.6
小学生の子どもがいる	65	58.5	20.0	55.4	47.7	53.8	16.9	29.2	9.2	0.0
中学生の子どもがいる	42	47.6	14.3	47.6	40.5	42.9	11.9	28.6	2.4	2.4
就学前の子どもがいる	74	45.9	37.8	50.0	33.8	44.6	25.7	39.2	4.1	1.4
高校生以上の子どもがいる	147	38.1	28.6	45.6	40.8	28.6	18.4	30.6	5.4	1.4
子どもはいない	175	30.3	32.6	44.0	31.4	36.6	21.1	33.7	2.9	2.9

■「問20 小学生や中学生の子どもの有無について」×「問25 小学校や中学校の施設に対して期待をする機能について」

	合計	問25 小学校や中学校の施設に対して期待をする機能						
		防災拠点としての機能	地域コミュニティの拠点としての機能	図書室や体育館等施設または文化施設としての機能	多様な学習活動に対応できる学校施設としての機能	その他	特になし	無回答
全体	455	39.8	11.2	11.4	21.8	1.3	5.5	9.0
小学生の子どもがいる	65	27.7	16.9	9.2	29.2	4.6	7.7	4.6
中学生の子どもがいる	42	23.8	19.0	11.9	26.2	2.4	7.1	9.5
就学前の子どもがいる	74	37.8	14.9	14.9	23.0	1.4	4.1	4.1
高校生以上の子どもがいる	147	40.1	11.6	10.2	18.4	0.7	8.8	10.2
子どもはいない	175	42.9	10.9	12.0	21.7	0.6	4.0	8.0

■「問20 小学生や中学生の子どもの有無について」×「問26 小学校や中学校の教育施設環境について、特に充実・改善してほしいものについて」

	合計	問26 小学校や中学校の教育施設環境について、特に充実・改善してほしいこと							
		学年・学級の垣根を超えた共有施設の整備	主体的に学ぶための学習空間	教科学習の充実を図るための機能的な教室の整備	ICT機器を活用した教育を推進するための施設整備や情報機器の充実	体育館や校庭など屋内・屋外運動施設の充実	地域コミュニティの活動や交流の場の整備	防災・防犯に優れた施設の整備	無回答
全体	455	24.8	53.4	33.4	44.8	41.3	17.1	47.0	2.2
小学生の子どもがいる	65	26.2	63.1	49.2	56.9	41.5	10.8	46.2	0.0
中学生の子どもがいる	42	19.0	52.4	31.0	54.8	45.2	21.4	35.7	0.0
就学前の子どもがいる	74	28.4	62.2	39.2	59.5	58.1	13.5	52.7	1.4
高校生以上の子どもがいる	147	23.8	46.9	31.3	46.3	41.5	18.4	44.9	0.7
子どもはいない	175	24.6	56.0	29.7	36.6	34.9	18.9	46.9	3.4

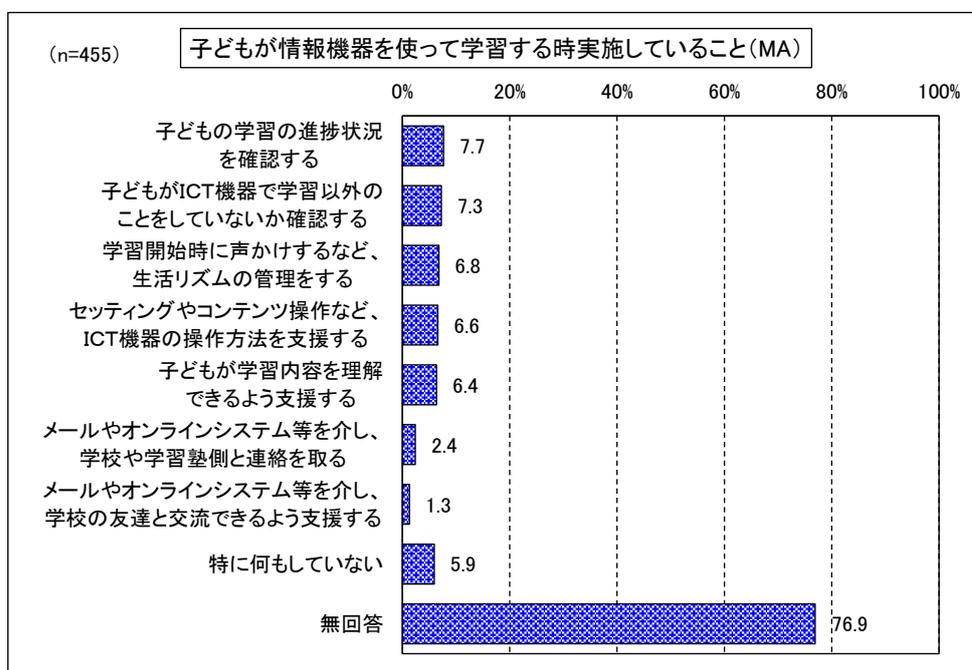
■「問20 小学生や中学生の子どもの有無について」×「問27 豊かな学びを確保するための校内施設として、重要なものについて」

	合計	問27 豊かな学びを確保するための校内施設として重要なこと					
		教室内の設備の充実	新たな特別教室（外国語教室、多目的室等）の確保	体育館や校庭など屋内・屋外運動施設の充実	LED照明等、環境に配慮した学校施設整備	その他	無回答
全体	455	57.1	42.2	53.4	27.3	6.4	2.9
小学生の子どもがいる	65	70.8	50.8	52.3	23.1	12.3	0.0
中学生の子どもがいる	42	59.5	40.5	57.1	21.4	11.9	0.0
就学前の子どもがいる	74	67.6	40.5	63.5	20.3	5.4	2.7
高校生以上の子どもがいる	147	46.3	47.6	53.1	28.6	6.8	1.4
子どもはいない	175	58.9	36.6	49.7	29.7	5.7	3.4

問 28 小学生や中学生のお子さんを持つ方に伺います。お子さんがパソコンやタブレットなどを用いた学習を行うときにあなたが実施していることはありますか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

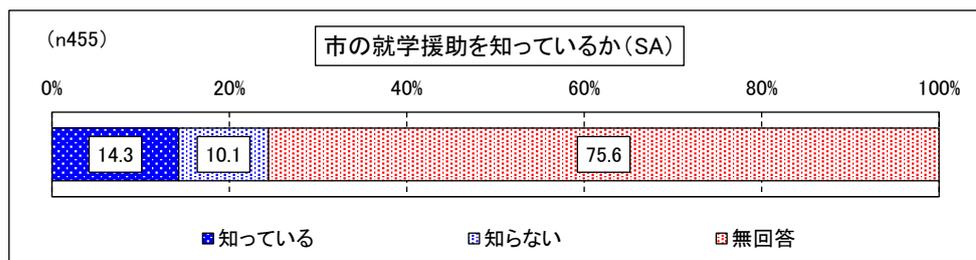
子どもが情報端末(パソコンやタブレットなど)を用いた学習を行うときに、実施していることについては、「子どもの学習の進捗状況を確認する」への回答割合が最も高く7.7%となっており、次いで、「子どもがICT機器で学習以外のことをしていないか確認する」が7.3%、「学習開始時に声かけするなど、生活リズムの管理をする」が6.8%、「セッティングやコンテンツ操作など、ICT機器の操作方法を支援する」が6.6%、「子どもが学習内容を理解できるよう支援する」が6.4%と続いています。



問 29 小学生や中学生のお子さんを持つ方に伺います。市では経済的な理由により就学困難な児童等の保護者に対し、就学援助により必要な経費を支給しています。あなたは、就学援助を知っていますか。
(○は1つ)

【全体】

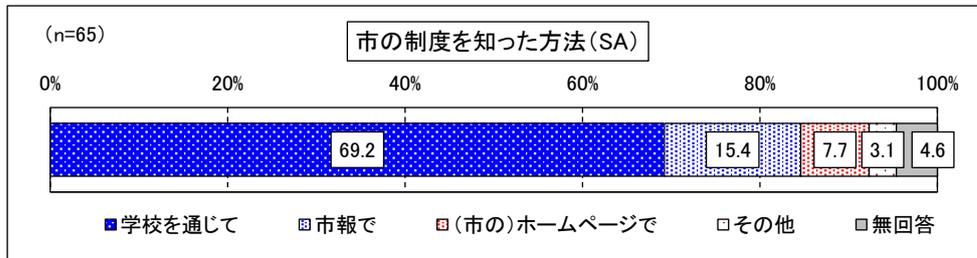
経済的な理由により就学困難な児童等の保護者に対し、市が就学援助（必要な経費の支給）を行っていることについて、「知っている」が14.3%、「知らない」が10.1%となっています。



問 29-② 問 29 で「1」に回答した方に伺います。どのように市の制度を知りましたか。（○は1つ）

【全体】

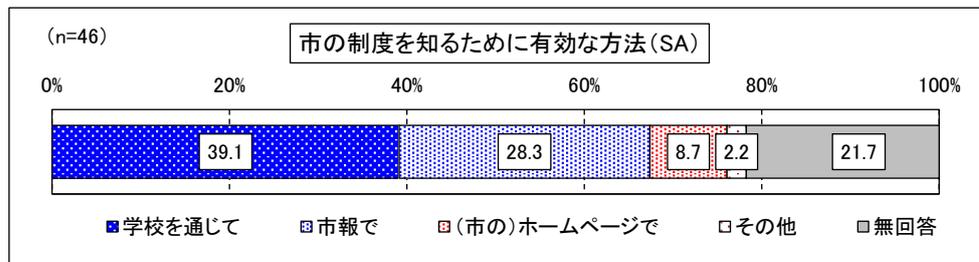
市の就学援助（必要な経費の支給）の制度を知った方法として、「学校を通じて」が69.2%、「市報で」が15.4%、「（市の）ホームページで」が7.7%となっています。



問 29-③ 問 29 で「2」に回答した方に伺います。市の制度を知るために有効な方法は、次のどれですか。（○は1つ）

【全体】

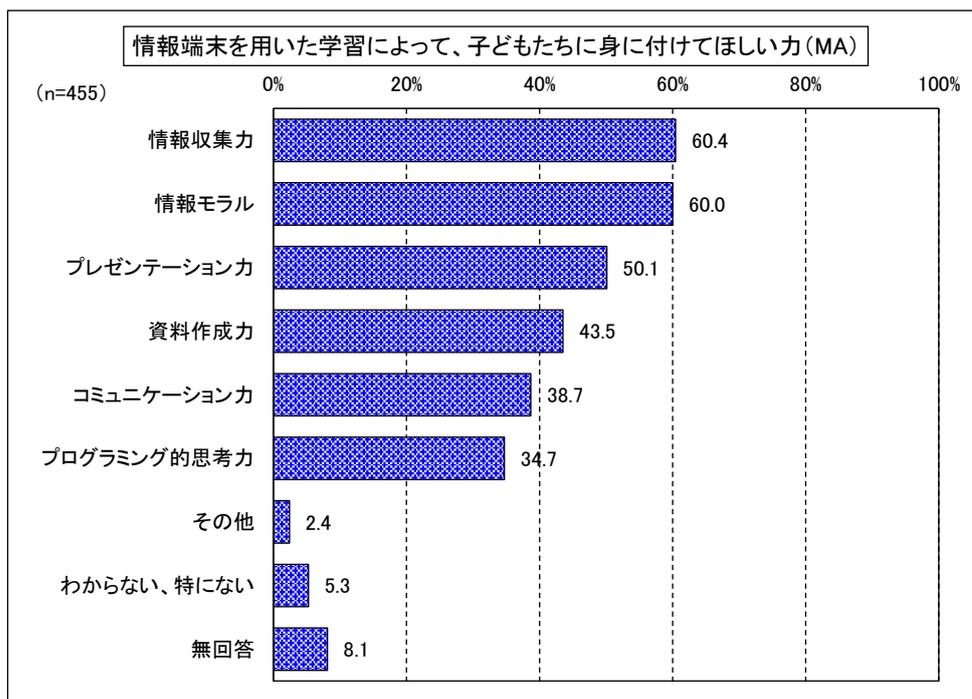
市の就学援助（必要な経費の支給）の制度を知るために有効な方法として、「学校を通じて」が39.1%、「市報で」が28.3%、「（市の）ホームページで」が8.7%となっています。



問 30 あなたが、パソコンやタブレットなどを用いた学習によって、子どもたちが身に付けてほしい力は
何ですか。 あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

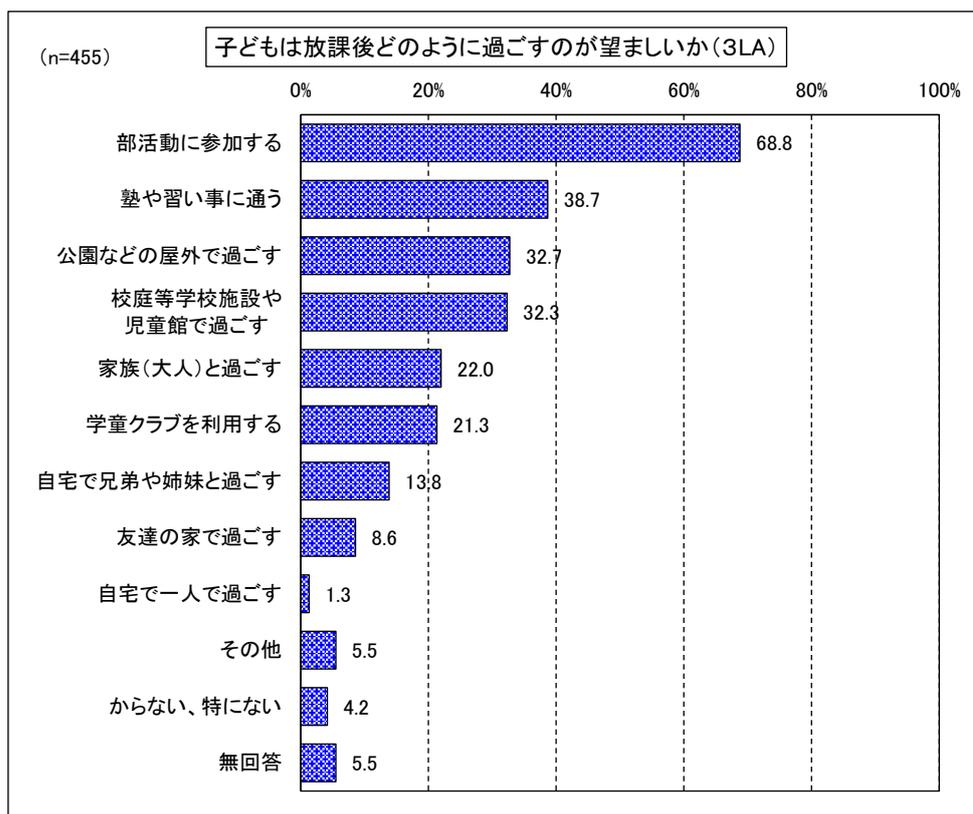
情報端末（パソコンやタブレットなど）を用いた学習によって、子どもたちが身に付けてほしい力としては、「情報収集力」への回答割合が最も高く 60.4%となっており、次いで、「情報モラル」が 60.0%、「プレゼンテーション力」が 50.1%、「資料作成力」が 43.5%と続いています。



問 31 あなたは、子どもは放課後どのように過ごすのが望ましいと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

子どもは放課後どのように過ごすのが望ましいと思うかについては、「部活動に参加する」への回答割合が最も高く68.8%となっており、次いで、「塾や習い事に通う」が38.7%、「公園などの屋外で過ごす」が32.7%、「校庭等学校施設や児童館で過ごす」が32.3%と続いています。

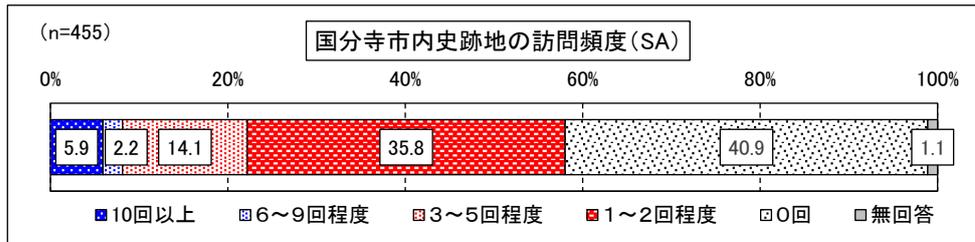


9 国分寺市の文化や文化財について

問 32 あなたは、国分寺市内の史跡地を年間何回程度訪れますか。(〇は1つ)

【全体】

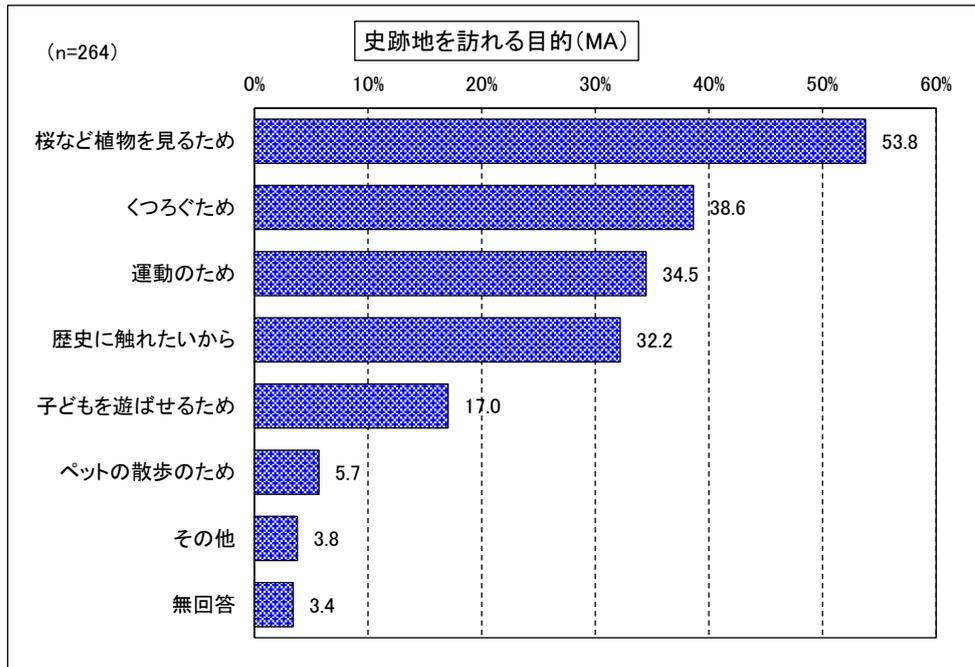
国分寺市内の史跡地への年間での訪問頻度については、「10回以上」が5.9%、「6～9回程度」が2.2%、「3～5回程度」が14.1%、「1～2回程度」が35.8%となっています。



問32-② 問32で「1」から「4」に回答した方に伺います。あなたは、どのような目的で史跡地を訪れますか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

【全体】

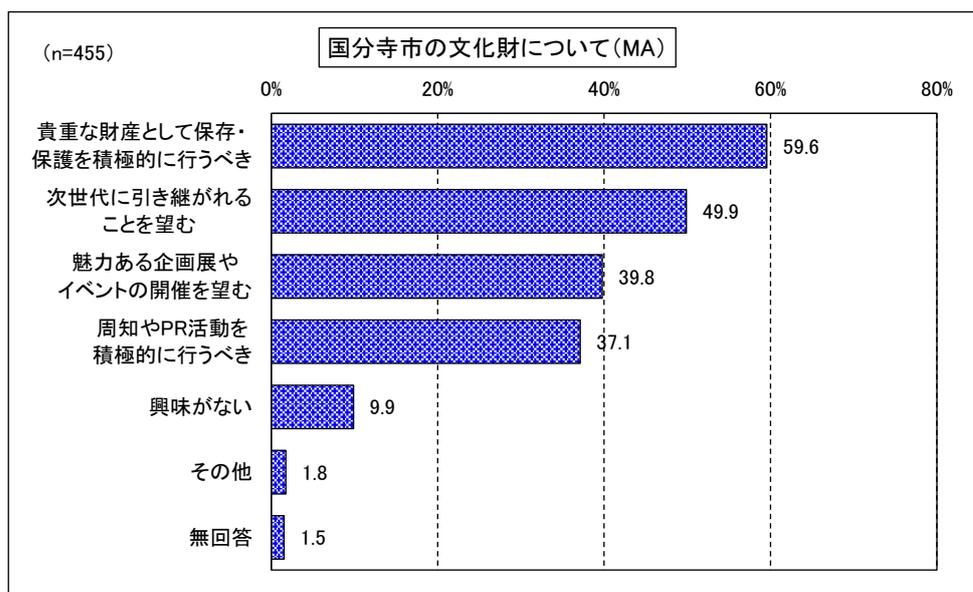
史跡地を訪れる目的については、「桜など植物を見るため」への回答割合が最も高く53.8%となっており、次いで、「くつろぐため」が38.6%、「運動のため」が34.5%、「歴史にふれたいから」が32.2%と続いています。



問 33 あなたは、国分寺市の文化財について、どう思いますか。あてはまる番号すべてに「○」をつけて
ください。

【全体】

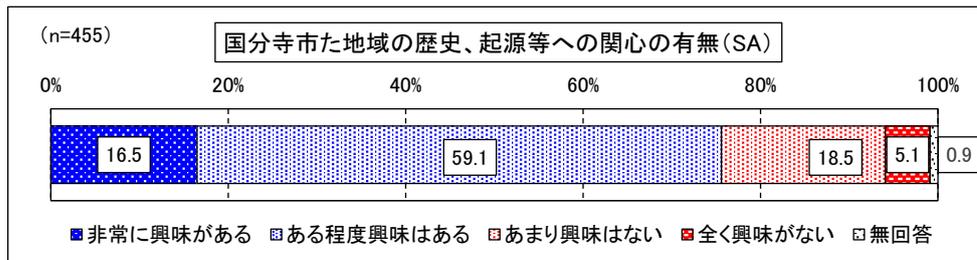
国分寺市の文化財については、「貴重な財産として保存・保護を積極的に行うべき」への回答割合が最も高く 59.6%となっており、次いで、「次世代に引き継がれることを望む」が 49.9%、「魅力ある企画展やイベントの開催を望む」が 39.8%、「周知やPR活動を積極的に行うべき」が 37.1%と続いています。



問 34 あなたは、国分寺市の歴史、現在お住まいの地域やかつて住んだことのある地域の歴史、成り立ち、起源などに興味はありますか。（〇は1つ）

【全体】

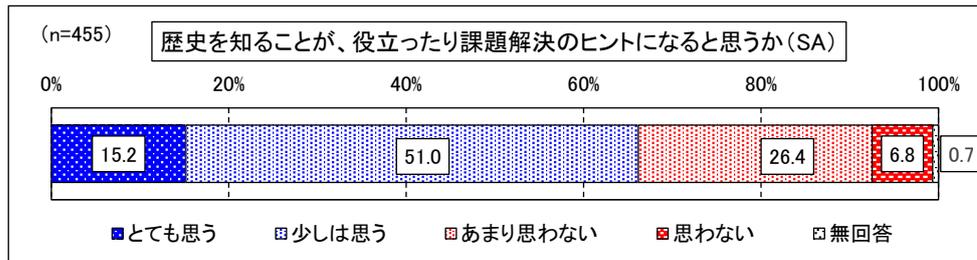
国分寺市や住んでいる地域の歴史や起源への興味については、「非常に興味がある」が16.5%、「ある程度興味はある」が59.1%、「あまり興味はない」が18.5%、「全く興味がない」が5.1%となっています。



問 35 あなたは、地域の歴史を知ることが、今の生活に役立ったり、地域の課題解決のヒントになると思いますか。(○は1つ)

【全体】

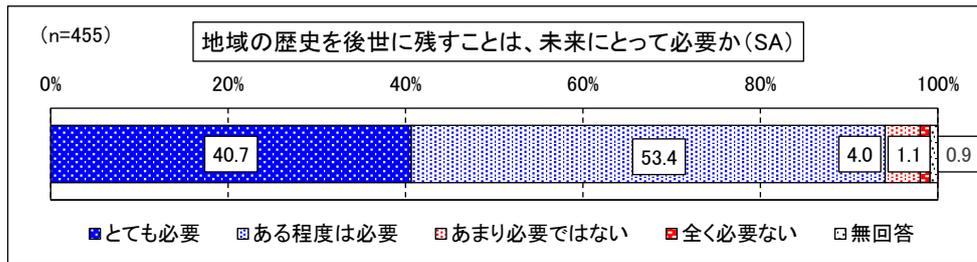
地域の歴史を知ることが、今の生活に役立ったり、地域の課題解決のヒントになると思うかについては、「とても思う」が15.2%、「少しは思う」が51.0%、「あまり思わない」が26.4%となっています。



問 36 あなたは、過去や現在の地域の歴史を後世に残すことは、今の子どもたちや未来の市民にとって必要なことだと思いますか。（○は1つ）

【全体】

過去や現在の地域の歴史を後世に残すことは、今の子どもたちや未来の市民にとって必要なことだと思うかについては、「とても必要」が40.7%、「ある程度は必要」が53.4%、「あまり必要ではない」が4.0%、「全く必要ない」が1.1%、「無回答」が0.9%となっています。

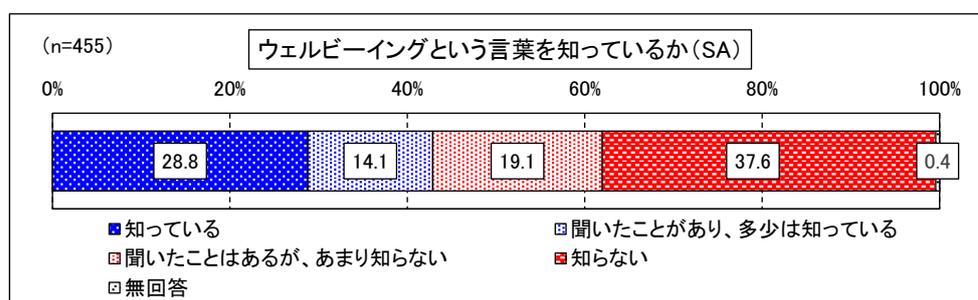


10 国の教育振興基本計画について

問 37 あなたは、ウェルビーイング（※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。）という言葉をご存じですか。（○は1つ）

【全体】

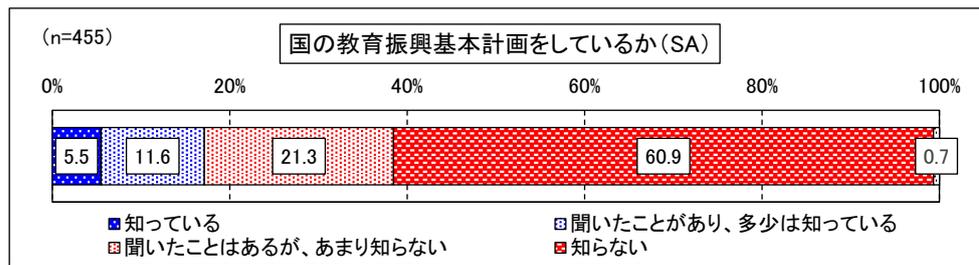
ウェルビーイングという言葉については、「知っている」が28.8%、「聞いたことがあり、多少は知っている」が14.1%、「聞いたことはあるが、あまり知らない」が19.1%、「知らない」が37.6%となっています。



問 38 国では、教育基本法（平成 18 年法律第 120 号）に示された理念の実現と、我が国の教育振興に関する施策の総合的・計画的な推進を図るため教育振興基本計画を作成しています。あなたは、この計画をご存じですか。（○は 1 つ）

【全体】

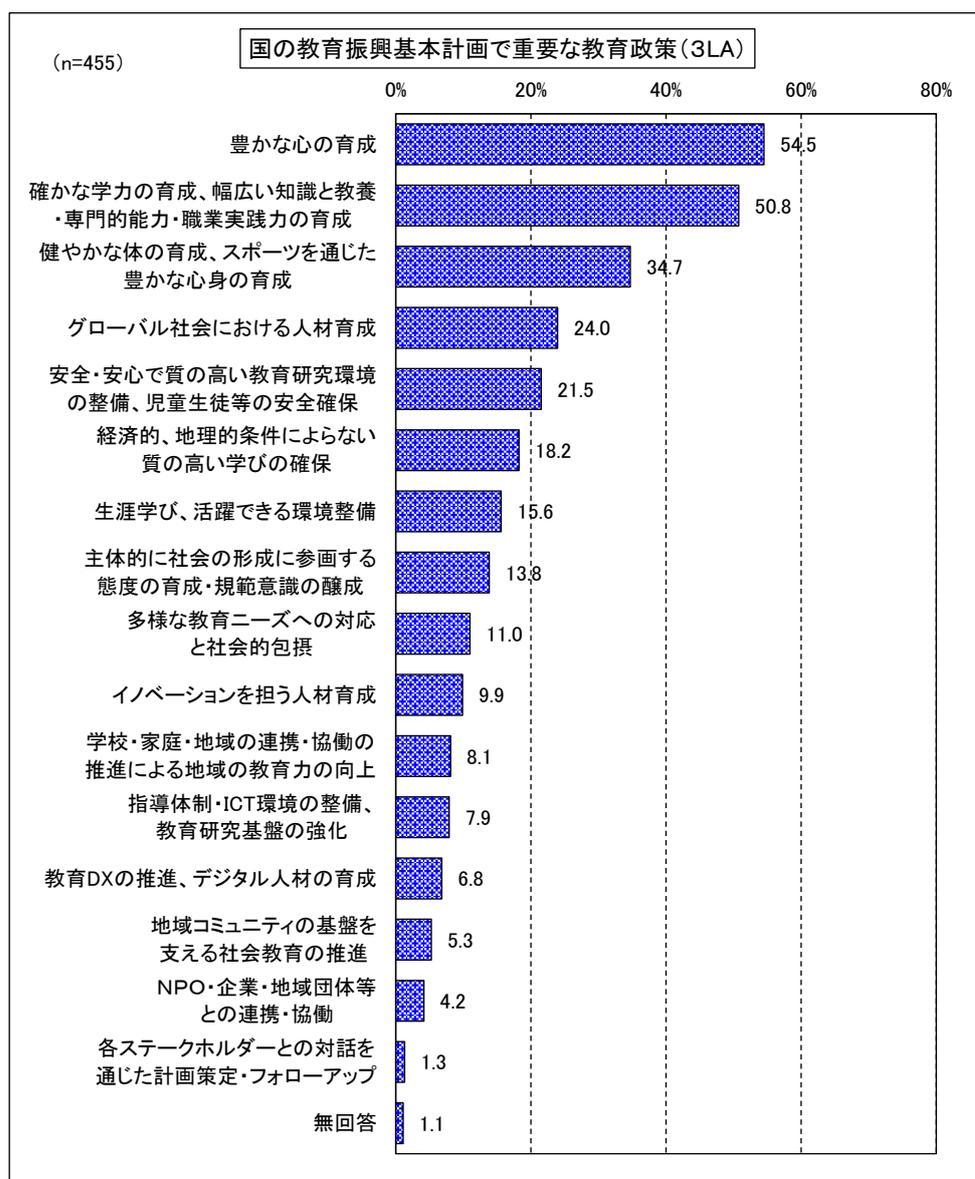
国の教育振興基本計画については、「知っている」が 5.5%、「聞いたことがあり、多少は知っている」が 11.6%、「聞いたことはあるが、あまり知らない」が 21.3%、「知らない」が 60.9%となっています。



問 39 教育振興基本計画では、今後5年間の教育政策の目標として以下を掲げています。本市の教育の目指すべき姿を踏まえ、あなたは、この中で何が重要と思いますか。 (〇は3つまで)

【全体】

本市の教育の目指すべき姿を踏まえ、教育振興基本計画で掲げられている今後5年間の教育政策について、重要な目標としては、「豊かな心の育成」への回答割合が最も高く54.5%となっており、次いで、「確かな学力の育成、幅広い知識と教養・専門的能力・職業実践力の育成」が50.8%、「健やかな体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成」が34.7%、「グローバル社会における人材育成」が24.0%と続いています。



Ⅲ. 調査票



インターネット回答用	
ユーザーID	
・	
パスワード	

※ユーザーIDとパスワードは共通です。

国分寺市の教育に関するアンケート ご協力をお願い

日頃より本市の教育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では、令和2年度から5年間で計画期間とする『第2次国分寺市教育ビジョン』を定め、「～人と人がつながり、学びが循環するまち～」を目指して、将来を担う子どもたちが健やかに成長するとともに、すべての市民の皆様が生涯にわたって豊かな学びができる環境づくりに取り組んでいるところです。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症は本市の教育や学びの環境にも大きな影響を及ぼし、市民の皆様にご提供する本市の学びの環境のあり方も改めて考えることが求められています。

また、『第2次国分寺市教育ビジョン』は令和6年度にその計画期間が終了することから、今後、学校、家庭、地域、関係諸機関をはじめ、市民の皆様のご意見を聞きながら、未来の学びのまちづくりに向けた取組を検討することとしています。

そのため、日頃市民の皆様が本市の学びの環境についてどのようなご意見、ご要望をお持ちなのかを伺い、今後の教育行政にいかし、あわせて新たな『教育ビジョン』につなげていくために、アンケート調査を実施いたします。

つきましては、今回、市内にお住まいの1,600人の方を無作為に選ばせていただき、このアンケートの回答をあなた様にお願いすることとなりました。ぜひ、率直なご意見、お考えをお聴かせくださいますようお願い申し上げます。

令和5年8月

国分寺市教育委員会

《ご回答にあたって》

○本アンケートは、令和5年7月1日現在、国分寺市に住民登録をされていた満18歳以上の方の中から、1,600人を無作為抽出で選ばせていただきお送りしています。

○封筒の宛名のご本人様のお考えや状況についてご回答ください。

○回答は、《郵送》または《インターネット》で行うことができます。どちらかの方法をお選びください。

郵送回答 アンケート票に直接ご記入いただき、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずに郵便ポストへ投かんしてください。

インターネット回答 インターネットに接続したパソコン、スマートフォン等から回答できます。詳しくは次ページの回答方法をお読みください。

○本アンケートは無記名により実施し、ご回答いただいた内容については統計的な処理をするため、回答者が特定されることはありません。また、ページ右上の「インターネット回答用ユーザーID・パスワード」は、郵送回答とインターネット回答の重複を確認するもので、無作為に付与しており、個人を特定できないようになっています。

○返信用封筒やアンケート票等回答にお名前やご住所は書かないでください。

○回答は、**令和5年9月25日(月)までに** 投かんまたは送信してください。



【問い合わせ先】国分寺市教育委員会 教育部 教育総務課 電話:042(574)4040

<月～金曜日(休日を除く。)午前8時30分～午後5時>

《郵送回答の記入方法》

- (1) 回答は、このアンケート票に黒のボールペンまたは濃い鉛筆で直接ご記入ください。
- (2) 回答は、選択肢の中からあてはまるものを選択してください。
質問によって「○は1つ」、「○は3つまで」、「あてはまるものすべてに○」等、選択する数を指定していますので、質問に沿ってご回答ください。
- (3) 「その他」を選択した場合は、()内に具体的な内容をお書きください。
- (4) 回答に迷う場合は、あなたのお考えにできるだけ近いものをお選びください。

《インターネットを利用した回答方法》

(パソコン、スマートフォン等から回答できます。)

- (1) インターネットに接続するパソコン、スマートフォン等から以下の2次元コードを読み取るか、URLを入力(または国分寺市公式ホームページからアクセス)してください。
※携帯電話については、機種によっては回答できない場合がありますのでご了承ください。

<URL>
https://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisei/torikumi/1030687/index.html

市ホームページからアクセスする場合は、ホームページ内にある「ページ番号検索」で「1030687」と半角で入力し、「表示」をクリックしてください。

ページ番号検索
1030687 表示

<2次元コード>


- (2) 上記で開いたページ内の「インターネット回答用ページ」をクリックすると、ユーザーIDとパスワードを入力する画面が表示されます。
- (3) アンケート票表紙の右上に記載されている「インターネット回答用 ユーザーID・パスワード」を、ユーザーIDとパスワードの欄にそれぞれ半角で入力した上で、「ログイン」をクリックし、アンケート回答のページにお進みください。

<アンケート票>



国分寺市の教育に関するアンケート

日頃より本市の教育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。本市では、令和2年度から5年間の計画期間とする『第2次国分寺市「～人と人がつながり、学びが循環するまち～」を目指して、将来を担長するとともに、すべての市民の皆様が生涯にわたって豊かな学びがでいるところです。』

インターネット回答用
ユーザーID
パスワード

※ユーザーIDとパスワードは共通です。

ここに記載されている6字を半角で入力してください。
※ユーザーIDとパスワードは共通です。
同一の6字をそれぞれ入力してください。
※大文字と小文字は区別されます。

※ユーザーID・パスワードは、郵送回答とインターネット回答の重複を確認するためのものです。アンケート欄にランダムに付与し、個人を特定できないようにしています。

- (4) 回答が終わりましたら「送信内容確認」のボタンを押し、入力内容を確認してください。確認後、「送信」をクリックし、「送信完了」の画面が表示されましたら、アンケートは終了です。

※通信サービスの接続料金は、利用者様の負担となりますのでご了承ください。

現在の第2次国分寺市教育ビジョンについてお聞きます

「第2次国分寺市教育ビジョン」はこちらから見るができます。

第2次国分寺市教育ビジョンは、教育基本法第17条第2項により定めることが求められています。4つの施策の方向性のもと27の「取組の柱」が設定されています。



(PDF13.4MB)



問1 国分寺市では、「～人と人がつながり、学びが循環するまち～」を目指す学びの姿とする「第2次国分寺市教育ビジョン」を進めています。あなたは、このビジョンをご存じですか。（○は1つ）

1 知っている	2 聞いたことがあり、多少は知っている
3 聞いたことはあるが、あまり知らない	4 知らない

問2 「第2次国分寺市教育ビジョン」では、子どもから高齢者まで学びが循環するまちを目指しています。あなたは、国分寺市において常に学びの環境が提供されていると感じますか。（○は1つ）

1 提供されていると感じる	2 多少、提供されていると感じる
3 あまり提供されているとは感じない	4 提供されていないと感じる

生涯学習についてお聞きます



生涯学習とは…

人々が自分の生涯の中で、いつでも、どこでも、自分の意思で自由に行う学習活動のことで、学校教育や地域の図書館・公民館における講座等の学習機会に限らず、自分から進んで行う学習やスポーツ・文化活動・趣味・ボランティア活動などにおける、様々な学びのことをいいます。

問3 生涯を通じた学びについて伺います。あなたは、生涯学習の必要性を感じますか。（○は1つ）

1 強く感じる	2 どちらかといえば感じる
3 あまり感じない	4 全く感じない

問4 あなたは、ご自身が現在生涯学習を行っていると思いますか。（○は1つ）

1 行っている	2 どちらかといえば行っている
3 どちらかといえば行っていない	4 全く行っていない

問4-② 問4で「1」または「2」に回答した方に伺います。あなたは、生涯学習についての情報をどのような手段で得ていますか。**あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。**

1 ポスター・チラシ・パンフレット	2 市報国分寺
3 自治会・PTA・子ども会などからののお知らせ（回覧板・掲示板など）	
4 テレビ・ラジオ	5 新聞・雑誌・タウン情報誌
6 友人・知人	7 インターネット（国分寺市のホームページやSNS）
8 インターネット（国分寺市からのもの以外）	9 その他（ ）

問4-③ 問4で「1」または「2」に回答した方に伺います。あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能や経験を、どのようにいかしていますか。**あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。**

1 自分の人生をより豊かにしている
2 家庭・日常生活にいかしている
3 自分の健康の維持・増進にいかしている
4 仕事の上で役立てている
5 身に付けたことを伝えたり、教えたりしている
6 社会参加やボランティア活動を行っている
7 友達や仲間をつくっている
8 学習成果を発表している
9 その他（ ）
10 何かにいかそうとは思わない

問4-④ 問4で「3」または「4」に回答した方に伺います。あなたは、どのような条件が整えば、生涯学習を行いますか。**あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。**

1 図書館や公民館、スポーツ施設が身近にあれば
2 指導者が身近にいれば
3 気軽に参加できる、気に入った教室やイベントが開催されれば
4 一緒に参加できる家族・仲間がいれば
5 年齢・技術レベルに対応した内容があれば
6 施設の利用時間が合えば
7 休暇（自由時間）が増加すれば
8 その他（ ）

問5 あなたは、生涯学習についてどのような手段の情報発信を望んでいますか。 あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

1 ポスター・チラシ・パンフレット	2 市報国分寺
3 自治会・PTA・子ども会などからのお知らせ（回覧板・掲示板など）	
4 テレビ・ラジオ	5 新聞・雑誌・タウン情報誌
6 友人・知人	7 インターネット
8 その他（ ）	

公民館についてお聞きます

公民館は、教育・学術・文化に関する事業を行う地域の社会教育施設です。本市には、本多公民館、恋ヶ窪公民館、光公民館、もとまち公民館、並木公民館の5つの公民館があります。



問6 あなたは、公民館を利用していますか。（○は1つ）

1 よく利用している	2 ときどき利用している
3 あまり利用していない	4 全く利用していない

問6-② 問6で「1」または「2」に回答した方に伺います。あなたが、公民館を利用する頻度はどの程度ですか。（○は1つ）

1 ほぼ毎日	2 週3～4日位
3 週1～2日位	4 月1日程度
5 半年に1日程度	6 年に1日程度
7 その他（ ）	

問6-③ 問6で「1」または「2」に回答した方に伺います。あなたが、公民館を利用する目的は何ですか。（○は1つ）

1 ロビーの利用	2 サークル活動
3 自治会関係	4 公民館主催事業参加
5 その他（ ）	

問6-④ 問6で「3」または「4」に回答した方に伺います。あなたが、公民館を利用しない理由は何ですか。(○は1つ)

1 時間がない	2 交通が不便
3 都合が合わない	4 利用の仕方がわからない
5 興味がない	6 その他 ()

問7 あなたが、公民館に期待することは何ですか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

1 講座やイベントなどの充実
2 講座や団体案内など学習情報の提供の充実
3 団体・グループの学習活動の支援
4 若者向けの事業の拡充
5 学んだ知識や技能をいかせる機会の充実
6 学習や活動に関する相談の充実
7 団体や地域のリーダー・指導者の養成
8 その他 ()
9 特になし

図書館についてお聞きします



図書館は、図書、雑誌、新聞、電磁的記録等の図書館資料を、収集・整理・保存し、閲覧・貸出し・複写・レファレンスサービス等によって提供する社会教育施設です。

本市には、本多図書館、恋ヶ窪図書館、光図書館、もとまち図書館、並木図書館、本多図書館駅前分館があります。

問8 あなたは、図書館を利用していますか。(○は1つ)

1 よく利用している	2 ときどき利用している
3 あまり利用していない	4 全く利用していない

問8-② 問8で「1」または「2」に回答した方に伺います。あなたが、図書館を利用する頻度はどの程度ですか。(○は1つ)

1 ほぼ毎日	2 週3～4日位
3 週1～2日位	4 月1日程度
5 半年に1日程度	6 年に1日程度
7 その他 ()	

問9 あなたは、本を1か月で、何冊読みますか。(○は1つ)

1 10冊以上	2 5～9冊
3 1～4冊	4 0冊

問10 あなたは、電子図書館の利用登録をして、電子書籍を読んだことがありますか。(○は1つ)

1 読んだことがある	2 登録をしたが、読んでいない
3 登録をしたが、利用の仕方がわからない	4 登録していない
5 登録の仕方がわからない	

問11 あなたが、図書館サービスとして期待することは何ですか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

1 新刊書など、本の充実
2 レファレンスサービス(調べものの補助)の充実
3 障害者サービスの充実
4 電子図書館(電子書籍)の充実
5 その他()

学びたい分野についてお聞きます

問12 あなたが、生涯学習や公民館・図書館で今後学習してみたいと思う分野は何ですか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

1 趣味的なもの(音楽・美術・華道・舞踊・書道・レクリエーション活動など)
2 教養的なもの(文学・歴史・科学・語学など)
3 社会問題に関するもの(社会・時事・国際・環境・エネルギー・人権など)
4 健康・スポーツ(健康法・医学・栄養・ジョギング・水泳など)
5 家庭生活に役立つ技能(料理・洋裁・和裁・編み物など)
6 子育て・教育に役立つもの(保育・幼児教育・教育問題など)
7 職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や、資格の取得など)
8 情報端末(コンピュータやタブレット端末など)やインターネットに関すること(プログラムの使い方、ホームページの使い方など)
9 ボランティア活動に関すること
10 自然体験や生活体験などの体験活動
11 学校(高等・専門・各種学校、大学、大学院など)の正規課程での学習
12 その他()
13 わからない、特になし

学校や地域との連携やつながりについてお聞きます

問 13 あなたは、普段、あなたが住んでいる地域の人や子どもとはあいさつをしますか。（○は1つ）

1 自分からあいさつをする
2 相手からあいさつされれば、自分もあいさつをする
3 あいさつをしない

問 14 あなたは、普段、地域の子どもとどのように接していますか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

1 会ったときにあいさつをしている
2 会ったときに声をかけたり話をしたりしている
3 良いことをしているところを見たときはほめている
4 悪いことをしているところを見たときは注意をしている
5 困ったときや悩んでいるときに相談にのっている
6 地域の活動を一緒にしている
7 スポーツや音楽などを教えている
8 地域の祭りやイベントで交流している
9 交流したいが、交流していない
10 交流するつもりはない
11 その他（ ）

問 15 あなたは、学校・家庭・地域が相互の連携・協力を深めていく上で大切なことは何だと思えますか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

1 学校・家庭・地域の役割分担を明らかにすること
2 学校・家庭・地域間の情報交換をスムーズに行うこと
3 学校・家庭・地域が定期的に話し合う場を設けること
4 学校が家庭や地域に対して積極的に働きかけを行っていくこと
5 学校が保護者や地域の人々、関係機関の意見を十分聞くように努めること
6 学校施設を地域の人々の学習・交流の場やコミュニティの拠点として活用すること
7 家庭や地域社会が、日常生活におけるしつけ等、積極的に役割を担っていくこと
8 PTA活動を活性化すること
9 地域でのイベント等の開催において、学校や教育委員会の協力を求めていくこと
10 その他（ ）
11 わからない、特になし

問 16 あなたは、学校と「つながり」を持つことがありますか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

1 学校行事への参観	2 学校で行われる地域行事への参加
3 学校からの情報発信を受け取る	4 学校の教育活動への協力
5 その他 ()	6 特にない

問 17 学校教育と地域との連携を強めるために、あなたが協力できることは何ですか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

1 児童・生徒の学習や心のサポート	2 行事などのサポート
3 登下校の見守り・声かけ	4 花壇やグラウンド整備など
5 あいさつや行儀、礼儀作法のしつけ	6 地域の伝統や文化、遊びの伝承
7 学習のための情報や資料の提供	
8 学校施設の開放運営・施設整備のサポート	

問 18 あなたは、身近な小学校・中学校の取組やそこを拠点として行われる地域の活動について、どのようなことなら参加・協力してもよいと思いますか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

1 総合的な学習の時間や調べ学習などへの資料の提供
2 地域学習のための情報提供
3 体験活動などにおける安全確保やサポート
4 授業やクラブ活動・部活動のサポート
5 行事やイベントのサポート
6 図書室や音楽室、体育館などの施設運営のサポート
7 学校で行われる地域のスポーツ・文化活動
8 土日をいかした親子イベントや行事などの企画・実施
9 非行防止や健全育成のための活動
10 子どもの地域での過ごし方や活動についての広報誌づくり等
11 市民同士の交流や、まちづくりに関する活動
12 SNS 等を利用した情報の発信
13 その他 ()
14 特にない (理由:)

問 19 今後、中学校の部活動について、教員以外の指導者へお願いする地域移行を進めていく予定です。
あなたは、その指導者として学校と関わりたいと思いますか。(○は1つ) また、関わりたいと思う場合、ご専門の種目は何ですか。(例：バドミントン、吹奏楽など)

1 思う【無償】 専門種目 ()
2 有償なら思う 専門種目 ()
3 指導者としての資格や技術はないが関わりたいと思う。
4 思わない

学校教育についてお聞きます

問 20 あなたには、小学生や中学生のお子さんがありますか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。(※なお、1～4に丸を付けている場合、5にも丸を付けますと無回答扱いとなりますので、ご注意ください。)

1 小学生の子どもがいる
2 中学生の子どもがいる
3 就学前の子どもがいる
4 高校生以上の子どもがいる(独立し、すでに同居していない。等も含む)
5 子どもはいない

問 21 あなたは、次代を担う子ども達に身に付けて欲しい力は何だと思いますか。(○は1つ)

1 基本的な知識・技能	2 思考力・判断力・表現力
3 学びに向かう力	4 外国語力
5 協調・協働力	6 ICT 活用力
7 その他 ()	

問 22 小・中学校の学校教育を改善・充実するため、次のような施策や学校などでの取組が想定されます。あなたは、どの施策を進めてほしいと考えていますか。 （〇は3つまで）

1 習熟度別指導
2 少人数指導
3 市民性（よりよい社会づくりに参画しようとする資質・能力）を高める教育カリキュラム
4 小学校での教科担任制
5 小中一貫教育
6 学校と地域の協働体制の強化
7 開かれた学校づくり
8 教職員の多忙化への対応（働き方改革）
9 教員が教える授業持ち時間数の軽減
10 部活動での外部指導者の活用
11 地域スポーツクラブの活用
12 学校の専門的機能の向上（例：ソーシャルワーカー、スクールカウンセラー）
13 不登校児童・生徒への支援
14 インクルーシブ教育（障害のある子もない子も共に学ぶしくみ）
15 学校施設の計画的な整備
16 学校とその他の施設公共の合築
17 給食の充実
18 その他（ ）
19 特にない

問 23 あなたは、いじめや不登校などの問題を防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
あてはまる番号すべてに「〇」をつけてください。

1 親が子どもを見守り、実態を把握すること
2 親が家庭で厳しくしつけること
3 インターネット上のトラブルを防止するため、学校や家庭において情報モラル教育の充実を図ること
4 学校の先生が児童・生徒を注意深く観察し、状況を把握すること
5 学校の先生がいじめ等の問題行動に対して厳しく指導すること
6 学校において道徳教育の充実を図ること
7 専門の相談員（スクールカウンセラー）に、いつでも悩みを相談できること
8 学校と警察や子ども家庭支援センター等の関係機関との連携を強化すること
9 地域で子どもたちを見守り、注意すること
10 その他（ ）
11 わからない、特にない

問 24 あなたは、地域に開かれた小学校や中学校にするために何が大切だと思いますか。 あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

1	学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する
2	学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる
3	ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く
4	登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる
5	地域の施設などを利用した校外学習を進める
6	地域の方々や保護者が学校の運営が適切に行われているかを評価する
7	放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する
8	その他 ()

問 25 あなたが、小学校や中学校の施設に対して期待をする機能は、どのようなものですか。(○は1つ)

1	防災拠点としての機能
2	地域コミュニティの拠点としての機能
3	図書室や体育館等スポーツ施設または文化施設としての機能
4	多様な学習活動に対応できる学校施設としての機能
5	その他 ()
6	特になし

問 26 あなたが、小学校や中学校の教育施設環境について、特に充実・改善してほしいものは何ですか。 あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

1	学年・学級の垣根を超えた共有施設の整備
2	主体的に学ぶための学習空間
3	教科学習の充実を図るための機能的な教室の整備
4	I C T機器を活用した教育を推進するための施設整備や情報機器の充実
5	体育館や校庭など屋内・屋外運動施設の充実
6	地域コミュニティの活動や交流の場の整備
7	防災・防犯に優れた施設の整備

問 27 あなたは、豊かな学びを確保するための校内施設として、どのようなものが重要だと思いますか。

あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

1	教室内の設備の充実
2	新たな特別教室（外国語教室、多目的室等）の確保
3	体育館や校庭など屋内・屋外運動施設の充実
4	LED照明等、環境に配慮した学校施設整備
5	その他（ ）

問 28 小学生や中学生のお子さんを持つ方に伺います。お子さんがパソコンやタブレットなどを用いた学習を行うときにあなたが実施していることはありますか。**あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。**

1	学習を始めるよう声かけするなど、生活リズムの管理をする
2	子どもがICT機器で学習以外のこと（ゲームなど）をしていないか確認する
3	子どもの学習の進捗状況を確認する
4	子どもが学習内容を理解できるよう支援する
5	セッティングやコンテンツ操作など、ICT機器の操作方法を支援する
6	メールやオンラインシステム等を介し、子どもの代わりに学校や学習塾側と連絡を取る
7	メールやオンラインシステム等を介し、子どもが学校の友達と交流できるよう支援する
8	特に何もしていない

問 29 小学生や中学生のお子さんを持つ方に伺います。市では経済的な理由により就学困難な児童等の保護者に対し、就学援助により必要な経費を支給しています。あなたは、就学援助を知っていますか。（○は1つ）

1	知っている	2	知らない
---	-------	---	------

問 29-② 問 29 で「1」に回答した方に伺います。

どのように市の制度を知りましたか。（○は1つ）

1	学校を通じて	2	市報で
3	（市の）ホームページで	4	その他（ ）

問 29-③ 問 29 で「2」に回答した方に伺います。

市の制度を知るために有効な方法は、次のどれですか。（○は1つ）

1	学校を通じて	2	市報で
3	（市の）ホームページで	4	その他（ ）

問 30 あなたが、パソコンやタブレットなどを用いた学習によって、子どもたちが身に付けてほしい力は何ですか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

1	情報収集力
2	プレゼンテーション力
3	資料作成力
4	情報モラル
5	コミュニケーション力
6	プログラミング的思考力
7	その他 ()
8	わからない、特になし

問 31 あなたは、子どもは放課後どのように過ごすのが望ましいと思いますか。(○は3つまで)

1	部活動に参加する
2	塾や習い事に通う
3	学童クラブを利用する
4	家族（大人）と過ごす
5	自宅で兄弟や姉妹と過ごす
6	自宅で一人で過ごす
7	公園などの屋外で過ごす
8	友達の家で過ごす
9	校庭等学校施設や児童館で過ごす
10	その他 ()
11	わからない、特になし

国分寺市の文化や文化財についてお聞きます

問 32 あなたは、国分寺市内の史跡地を年間何回程度訪れますか。（○は1つ）

1 10回以上	2 6～9回程度
3 3～5回程度	4 1～2回程度
5 0回	

問 32-② 問 32で「1」から「4」に回答した方に伺います。あなたは、どのような目的で史跡地を訪れますか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

1 歴史に触れたいから	2 桜など植物を見るため
3 運動のため	4 子どもを遊ばせるため
5 ペットの散歩のため	6 くつろぐため
7 その他（ ）	

問 33 あなたは、国分寺市の文化財について、どう思いますか。あてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

1 貴重な財産として保存・保護を積極的に行うべき	2 次世代に引き継がれることを望む
3 周知やPR活動を積極的に行うべき	4 魅力ある企画展やイベントの開催を望む
5 興味がない	6 その他（ ）

問 34 あなたは、国分寺市の歴史、現在お住まいの地域やかつて住んだことのある地域の歴史、成り立ち、起源などに興味はありますか。（○は1つ）

1 非常に興味がある	2 ある程度興味はある
3 あまり興味はない	4 全く興味がない

問 35 あなたは、地域の歴史を知ることが、今の生活に役立ったり、地域の課題解決のヒントになると思いますか。（○は1つ）

1 とても思う	2 少しは思う
3 あまり思わない	4 思わない

問 36 あなたは、過去や現在の地域の歴史を後世に残すことは、今の子どもたちや未来の市民にとって必要なことだと思いますか。（○は1つ）

1 とても必要	2 ある程度は必要
3 あまり必要ではない	4 全く必要ない

国の教育振興基本計画についてお聞きます

問 37 あなたは、ウェルビーイング（※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。）という言葉をご存じですか。（○は1つ）

1 知っている	2 聞いたことがあり、多少は知っている
3 聞いたことはあるが、あまり知らない	4 知らない

問 38 国では、教育基本法（平成 18 年法律第 120 号）に示された理念の実現と、我が国の教育振興に関する施策の総合的・計画的な推進を図るため教育振興基本計画を作成しています。あなたは、この計画をご存じですか。（○は1つ）

1 知っている	2 聞いたことがあり、多少は知っている
3 聞いたことはあるが、あまり知らない	4 知らない

問 39 教育振興基本計画では、今後 5 年間の教育政策の目標として以下を掲げています。本市の教育の目指すべき姿を踏まえ、あなたは何が重要と思いますか。（○は3つまで）

1 確かな学力の育成、幅広い知識と教養・専門的能力・職業実践力の育成
2 豊かな心の育成
3 健やかな体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成
4 グローバル社会における人材育成
5 イノベーションを担う人材育成
6 主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成
7 多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂
8 生涯学び、活躍できる環境整備
9 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上
10 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進
11 教育 DX の推進、デジタル人材の育成
12 指導体制・ICT 環境の整備、教育研究基盤の強化
13 経済的、地理的条件によらない質の高い学びの確保
14 NPO・企業・地域団体等との連携・協働
15 安全・安心で質の高い教育研究環境の整備、児童生徒等の安全確保
16 各ステークホルダー（利害関係者）との対話を通じた計画策定・フォローアップ

◆「第 4 期教育振興基本計画」は、令和 5 年 6 月 16 日に閣議決定されました。

公表された計画は次の HP アドレスから見るができます。

https://www.mext.go.jp/content/20230615-mxt_oseisk02-100000597_01.pdf

回答いただいたあなたご自身についてお聞きします

問 40 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1 男	2 女	3 回答しない
-----	-----	---------

問 41 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

1 10歳代	2 20歳代	3 30歳代
4 40歳代	5 50歳代	6 60歳代
7 70歳以上		

問 42 あなたの居住地をお答えください。(○は1つ)

1 泉町	2 北町	3 新町	4 高木町
5 戸倉	6 内藤	7 並木町	8 西恋ヶ窪
9 西町	10 西元町	11 光町	12 東恋ヶ窪
13 東戸倉	14 東元町	15 日吉町	16 富士本
17 本多	18 本町	19 南町	

問 43 あなたは国分寺市にお住まいになって何年になりますか。(○は1つ)

1 1年未満	2 1年以上5年未満	3 5年以上10年未満
4 10年以上20年未満	5 20年以上	

問 44 あなたの職業をお答えください。(主なものを1つ選んで○をつけてください。)

1 自営業	2 会社員
3 公務員	4 パート・アルバイト、派遣社員
5 専業主婦・主夫	6 学生
7 無職	8 その他(具体的に:)

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
ご回答は 9月25日(月)までにお願い申し上げます。

○インターネットでの回答を選ばれた方は上記期日までに、
調査票を直接ご返送される方は同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、
郵便ポストに投かんしてください



